



# 滋賀県立大学 2016年度 講義概要 (シラバス)

※この冊子は、Web 版シラバスを PDF に変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) でご確認ください。

# 目 次

1110011	英語 A (活性化コース) (環境)	佐久間 思帆	前期	・ ・ ・	1
1110012	英語 B (活性化コース) (環境)	佐久間 思帆	後期	・ ・ ・	3
1110021	英語 A (活性化コース) (環境)	渡 寛法	前期	・ ・ ・	5
1110022	英語 B (活性化コース) (環境)	渡 寛法	後期	・ ・ ・	7
1110031	英語 A (活性化コース) (環境)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	9
1110032	英語 B (活性化コース) (環境)	Karl Hedberg	後期	・ ・ ・	11
1110041	英語 A (活性化コース) (環境)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	13
1110042	英語 B (活性化コース) (環境)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	15
1110051	英語 A (活性化コース) (環境)	北島 美咲	前期	・ ・ ・	17
1110052	英語 B (活性化コース) (環境)	北島 美咲	後期	・ ・ ・	19
1110061	英語 A (活性化コース) (環境)	吉田 亞矢	前期	・ ・ ・	21
1110062	英語 B (活性化コース) (環境)	吉田 亞矢	後期	・ ・ ・	23
1110221	英語 A (応用コース) (環境)	Graham Jones	前期	・ ・ ・	25
1110222	英語 B (応用コース) (環境)	Graham Jones	後期	・ ・ ・	27
1110231	英語 A (応用コース) (環境)	Ashley Mark Stevens	前期	前期	29
1110232	英語 B (応用コース) (環境)	Ashley Mark Stevens	後期	後期	31
1110241	英語 A (応用コース) (環境)	岡本 マイケル	前期	・ ・ ・	33
1110242	英語 B (応用コース) (環境)	岡本 マイケル	後期	・ ・ ・	35
1110251	英語 A (応用コース) (環境)	Graham Jones	前期	・ ・ ・	37
1110252	英語 B (応用コース) (環境)	Graham Jones	後期	・ ・ ・	39
1110261	英語 A (応用コース) (環境)	Alan Neill	前期	・ ・ ・	41
1110262	英語 B (応用コース) (環境)	Alan Neill	後期	・ ・ ・	43
1110271	英語 A (応用コース) (環境)	Gordon Maclaren	前期	・ ・ ・	45
1110272	英語 B (応用コース) (環境)	Gordon Maclaren	後期	・ ・ ・	47
1110421	英語 A (充実コース) (環境)	市場 史哉	前期	・ ・ ・	49
1110422	英語 B (充実コース) (環境)	市場 史哉	後期	・ ・ ・	51
1110431	英語 A (充実コース) (環境)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	53
1110432	英語 B (充実コース) (環境)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	55
1110441	英語 A (充実コース) (環境)	真田 満	前期	・ ・ ・	57
1110442	英語 B (充実コース) (環境)	真田 満	後期	・ ・ ・	59
1110451	英語 A (充実コース) (環境)	Ashley Mark Stevens	前期	前期	61
1110452	英語 B (充実コース) (環境)	Ashley Mark Stevens	後期	後期	63
1110461	英語 A (充実コース) (環境)	佐久間 思帆	前期	・ ・ ・	65
1110462	英語 B (充実コース) (環境)	佐久間 思帆	後期	・ ・ ・	67
1110471	英語 A (充実コース) (環境)	岡本 マイケル	前期	・ ・ ・	69
1110472	英語 B (充実コース) (環境)	岡本 マイケル	後期	・ ・ ・	71
1110631	英語 A (展開コース) (環境)	渡 寛法	前期	・ ・ ・	73
1110632	英語 B (展開コース) (環境)	渡 寛法	後期	・ ・ ・	75
1110641	英語 A (展開コース) (環境)	村上 幸太郎	前期	・ ・ ・	77
1110642	英語 B (展開コース) (環境)	村上 幸太郎	後期	・ ・ ・	79
1110651	英語 A (展開コース) (環境)	吉田 亞矢	前期	・ ・ ・	81
1110652	英語 B (展開コース) (環境)	吉田 亞矢	後期	・ ・ ・	83
1110661	英語 A (展開コース) (環境)	坂元 敦子	前期	・ ・ ・	85
1110662	英語 B (展開コース) (環境)	坂元 敦子	後期	・ ・ ・	87
1110671	英語 A (展開コース) (環境)	村上 幸太郎	前期	・ ・ ・	89
1110672	英語 B (展開コース) (環境)	村上 幸太郎	後期	・ ・ ・	91
1110681	英語 A (展開コース) (環境)	渡 寛法	前期	・ ・ ・	93
1110682	英語 B (展開コース) (環境)	渡 寛法	後期	・ ・ ・	95
1130010	情報リテラシー (情報倫理を含む) (環境a)	山本 洋紀	前期	前期	97
1130020	情報リテラシー (情報倫理を含む) (環境b)	亀田 彰喜	前期	前期	99
1130030	情報リテラシー (情報倫理を含む) (環境c)	山本 洋紀	前期	前期	101
1130040	情報リテラシー (情報倫理を含む) (環境d)	亀田 彰喜	前期	前期	103
1130140	情報科学概論 (環境a)	山本 洋紀	後期	・ ・ ・	105
1130150	情報科学概論 (環境b)	亀田 彰喜	後期	・ ・ ・	107
1130160	情報科学概論 (環境c)	山本 洋紀	後期	・ ・ ・	109
1130170	情報科学概論 (環境d)	亀田 彰喜	後期	・ ・ ・	111
1150050	環境行動論	迫田 正美	前期	・ ・ ・	113
1150290	人間探求学 (環境建築デザイン)	学科教員	前期	・ ・ ・	115
1200020	CAD演習	Jimenez Verdejo Juan Ramon	後期	・ ・ ・	117
1200030	CAD演習	Jimenez Verdejo Juan Ramon	前期	・ ・ ・	119
1200060	アジア建築史	川井 操	後期	・ ・ ・	121
1200110	イメージ表現法	轟 慎一	前期	・ ・ ・	123
1200120	エコロジー経済学	村上 一真	後期	・ ・ ・	125
1200280	環境建築デザイン演習	学科教員	後期	・ ・ ・	127
1200290	環境・建築デザイン概論	学科教員	前期	・ ・ ・	129
1200300	環境アセスメント	錦澤 滋雄	前期集中	・ ・ ・	131
1200390	環境科学概論	小泉 尚嗣	前期	・ ・ ・	133
1200400	環境科学概論	伊丹 清	後期	・ ・ ・	135
1200440	環境学原論	村上 修一	後期	・ ・ ・	137
1200480	環境監査	池北 實	前期集中	・ ・ ・	139
1200510	環境技術	宮崎 慎也	前期	・ ・ ・	141
1200520	環境技術史	白井 宏昌	後期	・ ・ ・	143
1200540	環境共生デザイン	金子 尚志	後期集中	・ ・ ・	145
1200542	環境共生論	金子 尚志	後期集中	・ ・ ・	147
1200560	環境計画学	未定*	後期	・ ・ ・	149

1200581	環境経済学入門 高橋 卓也 前期	...	151
1200582	環境財政 村上 一真 後期	...	153
1200650	環境職能論 未定* 後期	...	155
1200700	環境政策学 上河原 献二 後期	...	157
1200810	環境設計 Jimenez Verdejo Juan Ramon 前期	...	159
1200820	環境設計 金子 尚志 前期	...	161
1200840	環境設備 伊丹 清 後期	...	163
1200860	環境造形論 迫田 正美 後期	...	165
1200960	環境フィールドワーク 学部教員 前期	...	167
1200970	環境フィールドワーク 学部教員 前期	...	169
1200980	環境フィールドワーク 学部教員 通年集中	...	171
1201080	環境倫理学 土屋 正春 前期	...	173
1201085	環境公正論 土屋 正春 前期	...	175
1201110	基礎数学 山崎 惣治郎 前期	...	177
1201120	基礎数学 山崎 惣治郎 後期	...	179
1201160	景観計画 村上 修一 後期	...	181
1201200	建築一般構造 黒川 直樹 前期	...	183
1201210	建築環境工学 伊丹 清 後期	...	185
1201220	建築環境工学演習 伊丹 清 前期	...	187
1201250	建築数学・物理 伊丹 清 後期	...	189
1201260	建築生産施工 中西 茂行 前期	...	191
1201270	建築法規 戸川 勝紀 後期	...	193
1201340	構造計画(環境建築デザイン) 陶器 浩一 後期	...	195
1201350	構造材料実験 陶器 浩一 後期	...	197
1201360	構造力学(環境建築デザイン) 陶器 浩一 前期	...	199
1201370	構造力学 高田 豊文 前期	...	201
1201410	コミュニティ計画論 芦澤 竜一 前期	...	203
1201465	サステイナブルデザイン論 芦澤 竜一 前期	...	205
1202320	西洋建築・思潮史 迫田 正美 前期	...	207
1202340	設計演習 学科教員 前期	...	209
1202350	設計演習 学科教員 後期	...	211
1202360	設計演習 学科教員 前期	...	213
1202370	設計基礎演習 学科教員 後期	...	215
1202450	卒業研究・卒業制作(環境建築デザイン) 学科教員	...	217
1202460	卒業研究・卒業制作(環境建築デザイン) 学科教員	...	219
1202570	地域環境計画 轟 慎一 後期	...	221
1202610	地域再生システム論 鷺飼 修 前期集中	...	223
1202620	地域産学連携実習 学科教員	...	225
1202621	地域産学連携実習 学科教員	...	227
1202622	地域産学連携実習 学科教員	...	229
1202760	都市・地域計画 轟 慎一 前期	...	231
1202840	内部空間論 未定* 後期	...	233
1202850	日本建築史 白井 宏昌 前期	...	235
1203180	木匠塾 高田 豊文 通年集中	...	237
1203200	ランドスケープデザイン 村上 修一 前期	...	239
1203330	建築デジタルデザイン基礎 永井 拓生 後期	...	241
1402920	文化財・保存修景論A 濱崎 一志 前期	...	243



講義名	英語 A (活性化コース) (環境)				担当教員	佐久間 思帆	
講義コード	1110011	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

#### 授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。英語を読み・聞きだけでは実力つきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。授業の初めに復習テスト(筆記式)を毎回行います。

#### 到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

#### 授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	BEYOND THE BASICS OF THE TOEIC(R) TEST	塚田幸光、Braven Smillie	金星堂	978-4-7647-3978-9
2				
3				

必ず購入のこと。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で配布したプリント並びに使用した音声はアスポにて配布。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (環境 )				担当教員	佐久間 思帆	
講義コード	1110011	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンスと英文法の基礎	ガイダンスと英文法の基礎項目の確認
第2回	Unit1	Part1と7
第3回	Unit1	Part3と5
第4回	Unit2	Part2と7
第5回	Unit2	Part4と5
第6回	Unit3	Part1と7
第7回	Unit3	Part3と5
第8回	Unit4	Part2と7
第9回	Unit4	Part4と5
第10回	Unit5	Part1と7
第11回	Unit5	Part3と5
第12回	Unit6	Part2と7
第13回	Unit6	Part4と6
第14回	Unit7	Part1と7
第15回	Unit7	Part3と5

**担当者から一言**

授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為（私語、携帯電話の使用、ペアワークへの不参加等）をする者の受講は認めません。  
なお20分以内の電車・バスの延着届については考慮しません。雨天その他で遅れそうな場合は時間にゆとりを持って移動してください。欠席をし

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)				担当教員	佐久間 思帆	
講義コード	1110012	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG102						

#### 授業概要

TOEIC形式の教科書を使い、これまでに学んだことを応用して、英語を英語のまま理解し、そしてアウトプットできるように、演習形式で特訓します。英語を読み・聞きだけでは実力つきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになっての演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。授業の初めに復習テスト(筆記式)を毎回行います。

#### 到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

#### 授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	BEYOND THE BASICS OF THE TOEIC(R) TEST	塚田幸光、Braven Smillie	金星堂	978-4-7647-3978-9
2				
3				

必ず購入のこと。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業で配布したプリント並びに使用した音声はアスポにて配布。

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (活性化コース) (環境)				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110021	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

#### 授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。  
(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEIC TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ(スマートフォンでも計測機能があればOK)を持ってきてください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (活性化コース)(環境)					担当教員	渡 寛法
講義コード	1110021	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	自己紹介、授業の進め方についての説明、ワークシートの記入。
第2回	Unit 1	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 2	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 3	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 4	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 5	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 6	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Review 1	ここまでの到達度確認テストを行う。
第9回	Unit 7	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 8	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 9	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 10	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 11	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 12	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Review 2	到達度確認テスト、および、振り返りシートの作成。

**担当者から一言**

英語学習の基本は音読です。まずはTOEICレベルの英文をスラスラ声に出して読めるようにトレーニングしていきましょう！

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110022	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG102						

#### 授業概要

本授業では、TOEICの問題を教材に、英語能力、とくにリスニング能力の向上を目指します。聴く力を伸ばすためには、まず自分自身で発音できることが重要です。そこで授業では、リスニング問題を解くだけでなく、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアやグループワークを通して英語に慣れる活動も行います。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、英語を聞いて即座に反応する瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、リスニング能力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。  
(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『STRIKE UP THE TOEIC TEST LISTENING』	塚田幸光	金星堂	978-4-7647-4005-1
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110022	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	前期の振り返り、後期の目標確認。
第2回	Unit 13	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 14	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 15	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 16	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 17	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 18	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Review 1	ここまでの到達度確認テストを行う。
第9回	Unit 19	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 20	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 21	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 22	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 23	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 24	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Review 2	到達度確認テスト、および、振り返りシートの作成。

担当者から一言

音読のスラスラ度をさらに磨いていきましょう！

講義名	英語 A (活性化コース) (環境)				担当教員	Karl Hedberg	
講義コード	1110031	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking  
25% Mid-term Writing test.  
25% Vocabulary Quizzes

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (活性化コース) (環境 )				担当教員	Karl Hedberg	
講義コード	1110032	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG102						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test. Each Speaking  
25% Mid-term Writing test.  
25% Vocabulary Quizzes

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (活性化コース) (環境)				担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110041	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

#### 授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上を目標とします。語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

#### 到達目標

1. TOEICで高得点が狙えるような比較的短い時間で長文の内容を理解できる英語の読解力を身につけること。
2. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
3. TOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30%	リスニングに関するレポート課題15% 語彙に関する小テスト15%
上記以外	20%	授業に参加する積極的な態度 (授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど)

半期で4回以上の欠席は評価をしません。  
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。  
予習をしっかりとっていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

#### 授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Gear Up for the TOEIC Test	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子	金星堂	9784764739581
2	新TOEIC テスト超速 英単語	安河内哲也	中経出版	9784806133704
3	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身!	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (環境)				担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110041	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Events (1)	授業の進め方の説明とTOEIC問題演習
第2回	Events (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第3回	Eating Out (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第4回	Eating Out (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第5回	Shopping (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第6回	Shopping (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第7回	Housing(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第8回	Housing(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第9回	Employment (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第10回	Employment (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第11回	Personnel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第12回	Personnel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第13回	Office (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第14回	Office (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第15回	Finance and Banking (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第16回	Finance and Banking (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第17回	Management (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第18回	Management (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第19回	Transactions (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第20回	Transactions (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第21回	Documents (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第22回	Documents (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第23回	Public Announcements (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第24回	Public Announcements (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第25回	Commuting (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第26回	Commuting (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第27回	Travel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第28回	Travel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第29回	News (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第30回	News (2)/まとめ	語彙の確認とTOEIC問題演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。また学内TOEIC以降はTOEIC以外の内容も扱う予定です。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)				担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110042	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG102						

#### 授業概要

この授業では、TOEICの受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上を目標とします。語彙の確認、リーディングあるいは、リスニングの演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

#### 到達目標

1. TOEICで高得点が狙えるような比較的短い時間で長文の内容を理解できる英語の読解力を身につけること。
2. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
3. TOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30%	リスニングに関するレポート課題15% 語彙に関する小テスト15%
上記以外	20%	授業に参加する積極的な態度 (授業内での読解演習などに積極的に参加しているかなど)

半期で4回以上の欠席は評価をしません。  
遅刻2回で欠席1回と考える場合があります。  
予習をしっかりとしていない者、提出物を提出しない者は評価の対象としない。

#### 授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったディクテーションとそれに関するレポートが中心になります。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Gear Up for the TOEIC Test	Mark D. Stafford, 妻島千鶴子	金星堂	9784764739581
2	新TOEIC テスト超速 英単語	安河内哲也	中経出版	9784806133704
3	こまったカタカナ英語 つうじる英語に大変身!	キャサリン・クラフト	中公文庫	9784122058736

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)				担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110042	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Events (1)	授業の進め方の説明とTOEIC問題演習
第2回	Events (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第3回	Eating Out (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第4回	Eating Out (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第5回	Shopping (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第6回	Shopping (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第7回	Housing(1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第8回	Housing(2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第9回	Employment (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第10回	Employment (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第11回	Personnel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第12回	Personnel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第13回	Office (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第14回	Office (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第15回	Finance and Banking (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第16回	Finance and Banking (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第17回	Management (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第18回	Management (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第19回	Transactions (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第20回	Transactions (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第21回	Documents (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第22回	Documents (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第23回	Public Announcements (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第24回	Public Announcements (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第25回	Commuting (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第26回	Commuting (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第27回	Travel (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第28回	Travel (2)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第29回	News (1)	語彙の確認とTOEIC問題演習
第30回	News (2)/まとめ	語彙の確認とTOEIC問題演習

担当者から一言

12月の学内TOEICに向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。また学内TOEIC以降はTOEIC以外の内容も扱う予定です。とにかく授業中に集中して課題に取り組んでしっかりとした英語力を身につけてください

講義名	英語 A (活性化コース) (環境)				担当教員	北島 美咲	
講義コード	1110051	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

#### 授業概要

TOEIC受験を考慮しながら、さまざまなトピックスの英文を読み、既修の知識を定着・活用することを目指します。具体的には、英語独特の論理的な文章を読むことで読解力、小テストなどで語彙力、ディクテーションなどにより聞く力、そして、それを踏まえた発信力と、バランス良く基本的な英語の能力を伸ばします。

#### 到達目標

- (1) 語彙を増やす。
- (2) 読解力を向上させる。
- (3) Listening力を向上させる。
- (4) 英語の文章の特徴を理解することができる。
- (5) TOEICのスコアをあげる。(各人の最初のスコアによるが、100ポイント程度アップを目指しましょう。)

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標(1)について、選択問題及び記述問題を行う。(20%) 到達目標(2)について、選択問題を行う。(10%) 到達目標(3)について、選択問題を行う。(10%)
レポート課題	0	
上記以外	35	到達目標(1)について、小テストを行う。(25%) 到達目標(1)(5)について、課題など適宜出題する。(10%)

授業回数の3分の1より多く欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

小テストはVocabulary Quizzesごとに行う予定です。宿題は適宜お知らせします。進み具合により、変更することがあります。ご了承ください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2	A Shorter Course in TOEIC Test Vocabulary Quizzes	佐藤誠司	南雲堂	9784523176671
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (活性化コース)(環境)					担当教員	北島 美咲
講義コード	1110051	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	授業内容紹介 TOEIC紹介
第2回	Unit1 Part1, 5	Part1 物の位置と状態を聞き取る(p.8-10) Part5 語幹を共有する名詞、動詞、形容詞、副詞(p.11-13)
第3回	Unit2 Part2, 6, 7	Part2 基本的な疑問文に応える(p.14-15) Part6 気をつけるべき英語の語順(p.16)
第4回	Unit3 Part3 Lesson1 Vocabulary Quizzes	Part3 電話での会話(p.20-22) Lesson1 街頭・交通に関する語句(p.6-7)
第5回	Unit3 Part5 Lesson2 Vocabulary Quizzes	小テスト Part5 数に絡んだ語の用法1(p.23-25)
第6回	Unit4 Part4 Lesson3 Vocabulary Quizzes	小テスト Part4 スピーチ(p.26-28)
第7回	Unit4 Part6, 7 Lesson4 Vocabulary Quizzes	小テスト Part6 数に絡んだ語の用法2(p.29)
第8回	Unit5 Part1, 5	小テスト Part1 人物の動作と様子(p.32-34)
第9回	Unit6 Part2, 6, 7	Part2 いろんなWh-疑問文(p.38-39) Part6 ねらわれやすい過去形と完了形の表現(p.40)
第10回	Unit7 Part3 Lesson5 Vocabulary Quizzes	Part3 カジュアルな日常会話(p.44-46) Lesson5 買い物・値段に関する語句(p.14-15)
第11回	Unit7 Part5 Lesson6 Vocabulary Quizzes	小テスト Part5 比較がらみの表現1(p.47-49)
第12回	Unit8 Part4 Lesson7 Vocabulary Quizzes	小テスト Part4 録音メッセージ・広告(p.50-52)
第13回	Unit8 Part6, 7 Lesson8 Vocabulary Quizzes	小テスト Part6 比較がらみの表現2(p.53)
第14回	Unit9 Part1, 5	小テスト Part1 建物・乗り物と周りとの関係(p.56-58)
第15回	Unit10 Part2, 6, 7	Part2 いろいろな形の問いかけに対応する(p.62-63) Part6 文と文との結びつき表現2(p.64)

担当者から一言

--	--

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)				担当教員	北島 美咲	
講義コード	1110052	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG102						

#### 授業概要

TOEIC受験を考慮しながら、さまざまなトピックスの英文を読み、既修の知識を定着・活用することを目指します。具体的には、英語独特の論理的な文章を読むことで読解力、小テストなどで語彙力、ディクテーションなどにより聞く力、そして、それを踏まえた発信力と、バランス良く基本的な英語の能力を伸ばします。

#### 到達目標

- (1) 語彙を増やす。
- (2) 読解力を向上させる。
- (3) Listening力を向上させる。
- (4) 英語の文章の特徴を理解することができる。
- (5) TOEICのスコアをあげる。(各人の最初のスコアによるが、100ポイント程度アップを目指しましょう。)

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	65	到達目標(1)について、選択問題及び記述問題を行う。(20%) 到達目標(2)について、選択問題を行う。(10%) 到達目標(3)について、選択問題を行う。(10%)
レポート課題	0	
上記以外	35	到達目標(1)について、小テストを行う。(25%) 到達目標(1)(5)について、課題など適宜出題する。(10%)

授業回数の3分の1より多く欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

小テストはVocabulary Quizzesごとに行う予定です。宿題は適宜お知らせします。進み具合により、変更することがあります。ご了承ください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Effective Approaches to the TOEIC Test	田中清美	南雲堂	9784523176220
2	A Shorter Course in TOEIC Test Vocabulary Quizzes	佐藤誠司	南雲堂	9784523176671
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (活性化コース) (環境)				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1110061	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

#### 授業概要

本授業は、『シャレード』(1963年、アメリカ)の鑑賞を通じて、英語ならびに英語圏以外の言語や文化についての理解を深めると同時に、本映画を題材にしたTOEIC形式のテキストを用いて、TOEICの問題形式に慣れることを主眼とする。TOEICで高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達度を知るうえで参考かつ励みとなる。パリを舞台とする本編を通じて、英語母語話者以外の人々による英語にも慣れ親しむことは、2006年以降の新TOEICのリスニング対策にも大変効果的であろう。また、どの場面でも見られるユーモアと皮肉に満ちた台詞は、暗唱するに値する。LL教室の設備を活用し、登場人物たちの台詞を練習・録音し、英語の美しいリズムと機知に富む表現を体得する。

#### 到達目標

- (1) 本編の前半部分の見所を字幕なしで鑑賞する
- (2) TOEICや本編に関する課題に、ペアまたはグループで協調して取り組み、解答を導く
- (3) 予習・復習の習慣を定着させ、語彙知識と本編の内容理解を深める

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標(1)について、期末テストで評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標(2)について、到達度確認テストを2回行い、全体の30%として評価。 到達目標(3)について、毎回小テストを行い、全体の30%として評価。

<出席について>

授業への積極的な参加は前提である。よって、出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

#### 授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	名作映画でTOEIC R (2) めざせ! 500 シャレード	Kay Nakagoほか	英宝社	978-4-269-66029-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	シャレード (名作映画完全セルフ集スクリーンプレイ・シリーズ)	曽根田 憲三	フォーインスクリーンプレイ事業部	978-4894074309
2	名作映画で英会話 3 シャレード	藤田 英時	宝島社	978-4796658249
3				

#### 前提学力等

<辞書について>

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

#### 履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (環境 )				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1110061	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	・ 授業概要や方針についての説明 ・ 受講者同士の自己紹介
第2回	Unit 1 Secrecy (1) - Listening	【前半】 ・ 小テスト
第3回	Unit 1 Secrecy (1) - Reading	【前半】 ・ 小テスト
第4回	Unit 2 Secrecy (2) - Listening	【前半】 ・ 小テスト
第5回	Unit 2 Secrecy (2) - Reading	【前半】 ・ 小テスト
第6回	Unit 3 Danger (1) - Listening	【前半】 ・ 小テスト
第7回	Unit 3 Danger (1) - Reading	【前半】 ・ 小テスト
第8回	到達度確認テスト ( 1 )	・ グループでチャレードに関する課題に取り組む
第9回	Unit 4 Danger (2) - Listening	【前半】 ・ 小テスト
第10回	Unit 4 Danger (2) - Reading	【前半】 ・ 小テスト
第11回	Unit 5 Best Spy (1) - Listening	【前半】 ・ 小テスト
第12回	Unit 5 Best Spy (1) - Reading	【前半】 ・ 小テスト
第13回	Unit 6 Best Spy (2) - Listening	【前半】 ・ 小テスト
第14回	Unit 6 Best Spy (2) - Reading	【前半】 ・ 小テスト
第15回	到達度確認テスト ( 2 )	・ Unit 4 - 6 の範囲の会話をペアで発表

担当者から一言

映画の前半部分は、少し退屈を感じるかもしれませんが、後半部分をより一層楽しむためには不可欠です。オードリー・ヘップバーンとパリの美しさに身を任せよう！

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1110062	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG102						

#### 授業概要

本授業は、『シャレード』（1963年、アメリカ）の鑑賞を通じて、英語ならびに英語圏以外の言語や文化についての理解を深めると同時に、本映画を題材にしたTOEIC形式のテキストを用いて、TOEICの問題形式に慣れることを主眼とする。TOEICで高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達度を知らうえで参考かつ励みとなる。パリを舞台とする本編を通じて、英語母語話者以外の人々による英語にも慣れ親しむことは、2006年以降の新TOEICのリスニング対策にも大変効果的であろう。また、どの場面でも見られるユーモアと皮肉に満ちた台詞は、暗唱するに値する。LL教室の設備を活用し、登場人物たちの台詞を練習・録音し、英語の美しいリズムと機知に富む表現を体得する。

#### 到達目標

- (1) 本編の後半部分の見所を字幕なしで鑑賞する
- (2) TOEICや本編に関する課題に、ペアまたはグループで協調して取り組み、解答を導く
- (3) 予習・復習の習慣を定着させ、語彙知識と本編の内容理解を深める

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 (1) について、期末テストで評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 (2) について、到達度確認テストを2回行い、全体の30%として評価。 到達目標 (3) について、毎回小テストを行い、全体の30%として評価。

<出席について>

授業への積極的な参加は前提である。よって、出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

#### 授業外学習

これまでの学習内容、これからの学習内容を効果的に定着させるため、授業の復習・予習などの授業外学習は欠かさず行うこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	名作映画でTOEIC (2) めざせ! 500 シャレード	Kay Nakagoほか	英宝社	978-4-269-66029-8
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	シャレード (名作映画完全セルフ集スクリーンプレイ・シリーズ)	曽根田 憲三	フォーインスクリーンプレイ事業部	978-4894074309
2	名作映画で英会話 3 シャレード	藤田 英時	宝島社	978-4796658249
3				

・適宜、授業中にプリント配布する。

#### 前提学力等

<辞書について>

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

#### 履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (環境)				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1110062	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG102						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	・前期の振り返り ・後期の目標確認
第2回	Unit 7 Who's Lying? (1) - Listening	【前半】 ・小テスト
第3回	Unit 7 Who's Lying? (1) - Reading	【前半】 ・小テスト
第4回	Unit 8 Who's Lying? (2) - Listening	【前半】 ・小テスト
第5回	Unit 8 Who's Lying? (2) - Reading	【前半】 ・小テスト
第6回	Unit 9 Still Hungry (1) - Listening	【前半】 ・小テスト
第7回	Unit 9 Still Hungry (1) - Reading	【前半】 ・小テスト
第8回	到達度確認テスト(1)	・Unit 7 - 9 の範囲の会話をペアで発表
第9回	Unit 10 Still Hungry (2) - Listening	【前半】 ・小テスト
第10回	Unit 10 Still Hungry (2) - Reading	【前半】 ・小テスト
第11回	Unit 11 Charade (1) - Listening	【前半】 ・小テスト
第12回	Unit 11 Charade (1) - Reading	【前半】 ・小テスト
第13回	Unit 12 Charade (2) - Listening	【前半】 ・小テスト
第14回	Unit 12 Charade (2) - Reading	【前半】 ・小テスト
第15回	到達度確認テスト(2)	・グループで総まとめ課題に取り組む (具体的な内容に関しては第14回目で告知)

#### 担当者から一言

映画の後半部分は、目まぐるしく展開していきます。前期で得た背景知識をフル活用して、楽しみながら英語力を鍛えてください！

講義名	英語 A (応用コース) (環境 )				担当教員	Graham Jones	
講義コード	1110221	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities including real-life videos from around the world. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	25	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外	50	Picture Test (4 pictures, each 25%). Each Speaking Objective is worth 25%. Students meet with the teacher one-by-one and describe what is happening in four Action English pictures (from the textbook) that we studied in the class.

#### 授業外学習

One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying the Action English Pictures from the textbook (4 hours). Review and practice class material (7 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (応用コース) (環境 )				担当教員	Graham Jones	
講義コード	1110222	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG104						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities including real-life videos from around the world. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	25	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外	50	Conversation Performance. Read aloud one of the Conversations we studied in class (from the textbook). Each Speaking Objective is worth 25%.

#### 授業外学習

One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying a Conversation from the textbook (4 hours). Review and practice class material (7 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (応用コース) (環境 )				担当教員	Ashley Mark Stevens	
講義コード	1110231	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

#### 授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final conversation test and a final writing test. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.  
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Teacher supplied material.

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (環境 )					担当教員	Ashley Mark Stevens
講義コード	1110231	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Course Introduction and Useful English	Explanation of schedule, grading, rubric. For homework: Students start to write a one-page self-introduction.
第2回	Pronunciation: learning to speak English	Looking at key pronunciation areas. Teacher checks that students have begun to write their self-introductions.
第3回	Pronunciation: learning to speak English	Teacher looks at Students' self-introduction writing, gives advice on how to write better and more complex sentences.
第4回	Food and tastes	Learning key vocabulary and how to talk about food and drinks. Teacher continues advising and correcting Students' self-introduction writing.
第5回	At the restaurant	Role play on visiting a restaurant. Teacher continues advising and correcting Students' self-introduction writing.
第6回	Shopping: prices	Learning key vocabulary about prices and products. Students read aloud their self-introduction writing to Teacher.
第7回	Shopping: comparing and buying	Role play on visiting shops and comparing products. Teacher continues to correct pronunciation.
第8回	Directions	Focusing on giving and receiving directions. Teacher continues to correct pronunciation.
第9回	Mid-Term Test	Mid-Term Test: Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking, and another grade for writing.
第10回	At the movies	Focus on how to talk about movies, genres and key vocabulary.
第11回	At the movies	Role play discussing different types of movies and arranging a trip to the cinema.
第12回	A great conversation	Focus on how to make good conversations in English and the differences between language culture.
第13回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final conversation test and written exam.
第14回	Interview Tests	Students demonstrate conversations.
第15回	Interview Test	Students demonstrate conversations.

担当者から一言

--

講義名	英語 B (応用コース) (環境 )				担当教員	Ashley Mark Stevens	
講義コード	1110232	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG104						

#### 授業概要

Outline: Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives them grades for writing and speaking. Students will also have a final presentation. This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	25% Mid-term Speaking test. 25% Mid-term Writing test.
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.  
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Teacher supplied material.

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (応用コース) (環境 )				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1110241	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

#### 授業概要

In this communication skills course, you will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will also improve your ability to connect different ideas to one another when speaking and listening. Finally, you will gain an understanding of different countries and develop your ability to communicate with people from different cultures and languages.

Each week, you will study a different country or culture. You will then be asked to write and talk about that place in class. There will be weekly writing homework assignments. Although I don't expect perfect grammar or conversation skills, I do expect you to try your best.

#### 到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation ), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Interview exam 15% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade.
レポート課題	25	Weekly Culture report 25% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Homework 10% and In Class participation 15%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Globe Trotters	Carmella Lieske	Cengage Learning	978-1-285-19750-0
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (環境 )				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1110241	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Class orientation	Introduce the course, self introductions, ice breaking activities
第2回	Spain	Talk about Spanish culture. Talk about customs and immigration.
第3回	China	Talk about Chinese culture. Talk about asking questions at a hotel reception desk.
第4回	Peru	Talk about Peruvian culture. Talk about checking-in at a hotel.
第5回	Pair interview test	In pairs, students will recite one of the units we have covered in class. Unit to be determined at random.
第6回	Japan	Talk about Japanese culture. Students will describe their home culture.
第7回	U.S.A, New York	Talk about American culture. Students will practice giving and receiving directions.
第8回	Antartica	Talk about Frozen, Karaoke, and the effects of understanding multiple languages.
第9回	India	Talk about Indian culture. Students will practice how to bargain and negotiate
第10回	New Zealand	Talk about New Zealand culture and extreme sports.
第11回	Africa	Talk about African culture. Students will practice describing items.
第12回	Culture research paper	Culture research paper is due. Students will talk about their paper in pairs and small groups in English. If time, talk about Cambodian culture.
第13回	Egypt	Talk about Egyptian and Italian culture. Talk about ordering at a restaurant. Explain Final presentation.
第14回	Review for Final	Give students time to prepare and practice for Final group presentation.
第15回	Final presentation	Students give final presentation in groups.

担当者から一言

You must do your homework before class each week so that you can fully participate in the classroom activities. Please bring a dictionary to class.

講義名	英語 B (応用コース) (環境 )				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1110242	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG104						

#### 授業概要

This class is an introduction to academic skills. You will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will read articles, listen to stories, watch videos, and talk about each topic. At the same time that you use English to learn about real-world content, you will apply it to your life and compare and contrast it with Japan.

In this class, we will start to develop skills that you need not only in English but also in Japanese. These include (1) Give, agree with, and politely disagree with opinions. (2) Analyze new facts and apply them to your life. (3) Decide when information is reliable and important. (4) Understand the basic structure of conversations, things you hear, and articles you read. (5) Provide support for your ideas. (6) Participate in pair and small group discussions.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation ), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	Interview exam 20% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade. Story Presentation 15%, Writing and Speaking Objectives 1,2, and 3 are worth 50% each of the total grade.
レポート課題	15	Research Paper 15% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Home work 15% and In Class participation 10%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Adventures 2		Cengage National Geographic Learning	978-0-8400-3036-8
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (応用コース) (環境 )				担当教員	Graham Jones	
講義コード	1110251	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities including real-life videos from around the world. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	25	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外	50	Picture Test (4 pictures, each 25%). Each Speaking Objective is worth 25%. Students meet with the teacher one-by-one and describe what is happening in four Action English pictures (from the textbook) that we studied in the class.

#### 授業外学習

One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying the Action English Pictures from the textbook (4 hours). Review and practice class material (7 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (環境 )					担当教員	Graham Jones
講義コード	1110251	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	About you	Introduction: About you. (Explanation of schedule, grading, rubric.) For homework: Students start to write a one-page self-introduction.
第2回	Daily life around the world 1	Unit 1: Daily life around the world / everyday activities. (Simple present / adverbs of frequency.)
第3回	Daily life around the world 2	Unit 1 (cont): Daily life around the world / everyday activities. (Simple present / adverbs of frequency.) Advice re self-introduction writing.
第4回	Free time 1	Unit 2: Free time / sports and leisure activities. (Simple present / present continuous.)
第5回	Free time 2	Unit 2 (cont): Free time / sports and leisure activities. (Simple present / present continuous.)
第6回	Asking and responding 1	Unit 3: Asking and responding. (Requests and permission, phrasal verbs.) Students read aloud their self-introduction writing.
第7回	Asking and responding 2	Unit 3 (cont): Asking and responding. (Requests and permission, phrasal verbs.)
第8回	Mid-Term Test	Mid-Term Test: Students read aloud their writing to Teacher. Teacher gives a grade for speaking, and another grade for writing.
第9回	Activities and hobbies 1	Unit 4: Activities, hobbies and interests. (Simple past / time expressions.) Teacher continues grading speaking and writing, if necessary.
第10回	Activities and hobbies 2	Unit 4 (cont): Activities, hobbies and interests. (Simple past / time expressions.)
第11回	Past events 1	Unit 5: Past events / emotion. (Simple past / past continuous.)
第12回	Past events 2	Unit 5 (cont): Past events / emotion. (Simple past / past continuous.)
第13回	Festivals and celebrations 1	Unit 6: Festivals, special events and celebrations. (going to / will.) (Picture Test for some students.)
第14回	Festivals and celebrations 2	Unit 6 (cont): Festivals, special events and celebrations. (going to / will.) (Picture Test for some students.)
第15回	Review	Review and feedback: Your thoughts and ideas. (Picture Test for some students.)
<b>担当者から一言</b>		

講義名	英語 B (応用コース) (環境 )				担当教員	Graham Jones	
講義コード	1110252	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG104						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities including real-life videos from around the world. Students write a one-page essay or story. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students next read aloud their essay or story and the teacher corrects any pronunciation problems. Finally, students read aloud their essays to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically. Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency and (3) good delivery. Their English will also be (4) grammatically correct. Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25	Mid-term Speaking test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test.
レポート課題	25	Mid-term Writing test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 3 is worth 50% of the total grade for the Writing test.
上記以外	50	Conversation Performance. Read aloud one of the Conversations we studied in class (from the textbook). Each Speaking Objective is worth 25%.

#### 授業外学習

One hour a week. Write and read aloud your story/essay (4 hours). Practice saying a Conversation from the textbook (4 hours). Review and practice class material (7 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Breakthrough PLUS Level 2	Miles Craven	Macmillan Education	978-0-230-43819-4
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (環境)				担当教員	Graham Jones	
講義コード	1110252	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG104						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Welcome back	Welcome back: Our aims for this semester. (Explanation of schedule, grading, rubric.) For homework: Students start a one-page self-introduction.
第2回	Eating and drinking 1	Unit 7: Eating and drinking. (Countable / uncountable nouns.)
第3回	Eating and drinking 2	Unit 7 (cont): Eating and drinking. (Countable / uncountable nouns.) Advice re self-introduction writing.
第4回	Rules and travel 1	Unit 8: Rules and travel. (Obligation / possibility.)
第5回	Rules and travel 2	Unit 8 (cont): Rules and travel. (Obligation / possibility.)
第6回	Personal experiences 1	Unit 9: Personal experiences. (Present perfect.) Students read aloud their self-introduction writing.
第7回	Personal experiences 2	Unit 9 (cont): Personal experiences. (Present perfect.)
第8回	Mid-Term Test	Mid-Term Test: Students read aloud their stories/essays to Teacher. Teacher gives a grade for speaking, and another grade for writing.
第9回	Health and well-being 1	Unit 10: Health and well-being. (Advice and suggestions.) Teacher continues grading speaking and writing, if necessary.
第10回	Health and well-being 2	Unit 10 (cont): Health and well-being. (Advice and suggestions.)
第11回	Making comparisons 1	Unit 11: Making comparisons. (Comparatives and superlatives / adjectives to describe people.)
第12回	Making comparisons 2	Unit 11 (cont): Making comparisons. (Comparatives and superlatives / adjectives to describe people.)
第13回	Technology today 1	Unit 12: Technology today. (for / since / just / yet / already.) (Conversation Performance for some students.)
第14回	Technology today 2	Unit 12 (cont): Technology today. (for / since / just / yet / already.) (Conversation Performance for some students.)
第15回	Review	Review & feedback: Your future. (Conversation Performance for some students.)

担当者から一言

講義名	英語 A (応用コース) (環境 )				担当教員	Alan Neill	
講義コード	1110261	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students read aloud their class work to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life. English with, good pronunciation, fluency and good delivery, produce the required quantity of speech, class material such as vocabulary and sentence patterns..

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	Worksheets as a speaking test.
レポート課題	25%	Worksheets as a writing test.
上記以外	50%	Radio Show, students interview.

#### 授業外学習

Homework: One hour a week. Practice what text was written from worksheets.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Worksheets			
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (環境)					担当教員	Alan Neill
講義コード	1110261	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	101ENG103						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	Bio and Memory Game	Start to write self-introduction
第2回	Futurama, jobs	Begin to write their self-introductions.
第3回	Sleeper, what is a robot?	Advice how to write better sentences, corrects grammar.
第4回	Ninomiya Chuhachi, Pioneer	Main points about inventor. Correcting Students' writing.
第5回	Graffiti, good or bad?	Advising and correcting Students' writing.
第6回	Treehouse	Students read aloud their self-introduction.
第7回	4 of a Kind Card Game	Answers that match. Teacher corrects pronunciation.
第8回	Cast Away Part 1	Need to live alone? Teacher corrects pronunciation.
第9回	Cast Away Part 2	Have you changed? Teacher checks worksheets.
第10回	Have You Ever	Marshmallow Test. Your childhood. Grading speaking and writing.
第11回	A to Z Alphabet Game	Bullying in BORDER. Words about people's feelings
第12回	GTO, Bullying in school	Listening and writing about telling stories
第13回	GTO, Become a teacher?	Listening and writing skills and telling opinions.
第14回	Summer Plans. Maybe, Hope, Plan	Student writing and speaking about plans.
第15回	Radio Show. An interview show	GTO, Cast Away or Richman, Poor Woman

担当者から一言

講義名	英語 B (応用コース) (環境 )				担当教員	Alan Neill	
講義コード	1110262	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG104						

#### 授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable and educational communicative activities. The teacher meets each student individually and gives advice about grammar and how to write interesting sentences. Students read aloud their class work to the teacher and the teacher gives grades for writing and speaking.

#### 到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life. English with, good pronunciation, fluency and good delivery, produce the required quantity of speech, class material such as vocabulary and sentence patterns..

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	25%	Worksheets as a speaking test
レポート課題	25%	Worksheets as a writing test.
上記以外	50%	Radio Show, students interview.

#### 授業外学習

宿題 Homework: One hour a week. Practice what text was written from worksheets.

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Worksheets			
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (応用コース) (環境 )				担当教員	Gordon Maclaren	
講義コード	1110271	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	101ENG103						

#### 授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and speech presentations. Our text is a play made up of 20 short parts, most of which one-third of student pairs will intensively study at home (= major homework every 3rd week). In normal class weeks, from April to June, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, movements and gestures as a class, then in pairs. After studying, the next week some pairs will perform the memorized scene as a test. Each student pair will do this four times. In July, those same student pairs will rewrite 5 pages worth of scene dialog, changing over half of it. Once the instructor corrects it, they will then perform 'their own' scene as a final test.

PAIR-ACT DRAMA SCENE (1/3 OF STUDENT PAIRS GRADED WEEKLY; FOLLOWING WEEK'S PRONUNCIATION PRACTICE)

#### 到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

#### 授業外学習

Study 4 scenes for pair performance from memory (8 hours total) Pairs rewrite 75-90% of a 'new' scene based on Scenes VII & VIII (4 hours) Study this combined scene for end-of-term performance from memory (3 hours)

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars[New Version]		Drama Works, 2009	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (応用コース) (環境 )				担当教員	Gordon Maclaren	
講義コード	1110272	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	101ENG104						

#### 授業概要

This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues. Our text is a play made up of 20 short parts, half of which each pair of students will study at home (= homework every 2nd week). Most weeks in class, we'll practice one scene's pronunciation, intonation, choreography and gestures as a class. The next week, half of the class student pairs will perform the memorized scene. Each term, half the class -- in student pairs -- will rewrite then perform 1-2 scenes. In the middle of the other term (either June or November), students will individually write about themselves or something that interests them. This paper will form the basis of a private chat with me, conducted while the rest of the class is learning and listening to the dialog of an English movie.

#### 到達目標

- (1) Students will be able to speak English with good pronunciation.
- (2) Students will be able to speak English with fluency.
- (3) Students will be able to speak English with good delivery.
- (4) Students will be able to speak grammatically correct English.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	25% mid-term speaking test 25% mid-term writing test 50% weekly activity

#### 授業外学習

Study 2 scenes for pair performance (5 hours total) Study two or three Screen Plays for movie quiz (3 hours total) Write an extensive 350-550 word report on your life, an autobiography, in English (7 hours)

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Pop Stars [New Version]		(Drama Works, 2009)	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (充実コース) (環境 )				担当教員	市場 史哉	
講義コード	1110421	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

#### 授業概要

アメリカのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

#### 到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	授業中に行う小テスト 35% 毎回各Unitのリスニング問題を行う。 確認テスト 30%

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

#### 授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。  
確認テスト、期末テストまでにDVDを使って復習をする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ABC World News 18	Shigeru Yamane	金星堂	978-4-7647-4014-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A ( 充実コース ) ( 環境 )				担当教員	市場 史哉	
講義コード	1110421	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	授業内容の説明
第2回	Unit 1	Royal Visit: Prince William in Japan
第3回	Unit 2	Free-Range Parenting
第4回	Unit 3	Security Breach: Drone Crashes on White House Lawn
第5回	Unit 4	Animal Love: Zoos Play Matchmaker
第6回	Unit 5	Operation Pizza
第7回	Unit 6	Big Powerball Jackpot Growing
第8回	確認テスト	Unit 1 からUnit 6まで
第9回	Unit 7	Obama in India
第10回	Unit 8	Real Money Investigation: Thieves Holding Your Data Hostage
第11回	Unit 9	Burger Wars: Billion Dollar Burger?
第12回	Unit 10	The Perfect Apple?
第13回	Unit 11	Winter Blast
第14回	Unit 12	Russian Spies? Three Suspects Charged
第15回	Unit 13	Measles on the Move
担当者から一言		

講義名	英語 B (充実コース) (環境 )				担当教員	市場 史哉	
講義コード	1110422	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG202						

#### 授業概要

イギリスのニュース番組を使ってリスニングの練習を行う。リスニングの能力を伸ばすには、発音に関する正しい知識だけではなく、次に来る語を予測するのに必要な構文の知識も必要になる。この知識がないと、英語のスピードについて行くことはできない。そしてこれらの知識は自分で英文を組み立てて表現するときにも必要になる。また、英語で会話をするには、世界で起きている出来事についての知識が欠かせない。ニュース番組を見てそのような知識と教養を身につける。

#### 到達目標

- (1) ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける
- (2) アナウンサーの英語を聞き取る能力を身につける
- (3) ニュースの内容を理解できる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	35	Unit 7 - 13までの範囲から語彙、リスニングに関する問題を出題する。
レポート課題		
上記以外	65	授業中に行う小テスト 35% 毎回各ユニットのリスニング問題を行う。 確認テスト 30%

3分の1以上欠席した場合は評価対象としない。

#### 授業外学習

学生にあてながら授業を行うので、単語を調べてくる必要がある。  
確認テスト、期末テストまでにDVDを使って復習をする。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Seeing the World through the News 3	Timothy Knowles	金星堂	978-4-7647-4015-0
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (充実コース) (環境 )				担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110431	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

#### 授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。 また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

#### 到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含まれます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

#### 授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500		旺文社	978010941751
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (環境)				担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110431	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。  
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力をつけて

講義名	英語 B (充実コース) (環境 )				担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110432	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG202						

#### 授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。 また12月のTOEICに向けての演習も行う予定です。

#### 到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	定期試験で100点満点中最低50点は取らないと評価はしません。
レポート課題	40%	家庭学習課題のレポートの提出がない場合は評価をしません。(20%) 毎回の小テストもこれに含みます。(20%)
上記以外	20%	授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)を評価します。

2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。4回以上欠席は評価をしません。

#### 授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ローマの休日		電波実験社	9784864900133
2	新TOEICテスト英単語ターゲット1500		旺文社	978010941751
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

特になし

#### 履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (環境)				担当教員	西澤 裕一	
講義コード	1110432	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG202						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ

担当者から一言

初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。  
忙しい授業になると思いますが、がんばって授業に参加し、また指定された家庭学習もしっかりと行って大学生にふさわしい程度の英語力をつけて

講義名	英語 A (充実コース) (環境 )				担当教員	真田 満	
講義コード	1110441	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

#### 授業概要

文化、社会問題、科学など様々な分野のエッセイを読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。英語を読み、ビデオ教材を聞くという受け身の授業ではなく、教科書の文章をもとに、英語を書く、話す際の表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

#### 到達目標

テキストの英文を正確に理解できる。  
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。  
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。  
 正しい文法を身につけ、英語を書くことができる。  
 正しい発音を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 と について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 と に関し、2回小テストを行い、評価の30%とする。 到達目標 と に関しては、毎回の宿題と授業でのプレゼンテーションをもとに、評価の30%とする。

3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。  
 30分以上の遅刻は認めない。  
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

#### 授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。  
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してこよう。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Explorer 1	Nancy Douglas, David Bohlke	Cengage	9781285846859
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A ( 充実コース ) ( 環境 )					担当教員	真田 満
講義コード	1110441	単位数	1	開講期	前期		
ナンバリング番号	201ENG201						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Introduction	授業の説明 ( 予習の際の注意点の説明を含む ) 英語を読むときの技術を簡単に説明
第2回	Unit 1. Reading A	Understanding the Gist
第3回	Unit 1. Reading B and Video	Identifying Main Ideas in Paragraphs Video
第4回	Unit 2. Reading A	Understanding Maps
第5回	Unit 2. Reading B and Video	Finding Key Details Video
第6回	Unit 3. Reading A	Classifying Information
第7回	Unit 3. Reading B	Identifying Reasons
第8回	1st Quiz, Video and Review	第一回小テスト ビデオ教材
第9回	Unit 4. Reading A	Summarizing Using a Concept Map
第10回	Unit 4. Reading B and Video	Identifying Reasons Video
第11回	Unit 5. Reading A	Understanding Charts and Graphs
第12回	Unit 5. Reading B	Understanding a Writer's Use of Quotes
第13回	2nd Quiz, Video and Review	第二回小テスト ビデオ教材
第14回	Unit 6. Reading A	Understanding Sequence
第15回	Unit 6. Reading B and Video	Understanding Pros and Cons Video

#### 担当者から一言

英和辞書だけでなく、英英辞書も持参すること。

講義名	英語 B (充実コース) (環境 )				担当教員	真田 満	
講義コード	1110442	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG202						

#### 授業概要

文化、社会問題、科学など様々な分野のエッセイを読み、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。英語を読み、ビデオ教材を聞くという受け身の授業ではなく、教科書の文章をもとに、英語を書く、話す際の表現力をさらに向上させることを目標とする。毎回の授業において、音読により弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。

#### 到達目標

テキストの英文を正確に理解できる。  
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。  
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。  
 正しい文法を身につけ、英語を書くことができる。  
 正しい発音を身につける。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 と について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 と に関し、2回小テストを行い、評価の30%とする。 到達目標 と に関しては、毎回の宿題と授業でのプレゼンテーションをもとに、評価の30%とする。

3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。  
 30分以上の遅刻は認めない。  
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

#### 授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。  
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してこよう。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Explorer 1	Nancy Douglas, David Bohlke	Cengage	9781285846859
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

随時、授業中にプリントを配付する。

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (充実コース) (環境 )				担当教員	Ashley Mark Stevens	
講義コード	1110451	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

#### 授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Final Interview Test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Final Written Test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

#### 授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (充実コース) (環境 )				担当教員	Ashley Mark Stevens	
講義コード	1110452	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG202						

#### 授業概要

Outline: The course aims to develop and expand on learners' existing knowledge of English. All four language skills will be covered with a primary emphasis on listening and speaking. Students will also be introduced to a number of learning techniques to empower their own learning experiences. In addition to the topics from the course outline, students will be encouraged to talk about their own interests as well as current events.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Final Interview Test. Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade for the Speaking test. 25% Final Writing Test. Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% each and Writing Objective 3 is worth 50%
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.

#### 授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English II	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (充実コース) (環境)				担当教員	佐久間 思帆	
講義コード	1110461	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

#### 授業概要

日本語字幕に頼らずに、アメリカで制作されたテレビドラマ"FULL HOUSE"を楽しみます。言語は他の人と情報を伝達しあうためのものですから、他の人と関わりあわないと英語運用能力は向上しません。ですから、ほかの学生とペアになったの演習や音読練習など、授業への積極的な参加が出席の必要条件となります。内容を確実に身につけているか確認するため小テストを毎回実施します。必要であれば辞書を持参し、不明な点は各自で調べる癖をつけてください。

#### 到達目標

(1) 語彙力の向上、(2) リスニング力の向上、(3) 読解力の向上、(4) 英語での思考力の向上、(5) 英語での発信力の向上

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%
レポート課題		
上記以外	50	小テスト等(1) 語彙力10%、(2) リスニング力10%、(3) 読解力10%、(4) 英語での思考力10%、(5) 英語での発信力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

#### 授業外学習

セリフをすらすらと言いながら書けるまで復習すること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント並びにPDFで配布。プリントおよび音声データ等はアスポにてダウンロード可能。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (充実コース)(環境)				担当教員	佐久間 思帆	
講義コード	1110461	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	第1話Our Very First Show	ガイダンスと第1話の視聴
第2回	第2話Our Very First Night No.1	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第3回	第2話Our Very First Night No.2	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第4回	第3話The First Day of School No.1	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第5回	第3話The First Day of School No.2	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第6回	第4話The Return of Grandma No.1	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第7回	第4話The Return of Grandma No.2	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第8回	第5話Sea Cruise No. 1	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第9回	第5話Sea Cruise No. 2	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第10回	第6話Daddy's Home No. 1	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第11回	第6話Daddy's Home No. 2	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第12回	第7話Knock Yourself Out No. 1	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第13回	第7話Knock Yourself Out No. 2	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第14回	第8話Jesse's Girl No. 1	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認
第15回	第8話Jesse's Girl No. 2	1.映像の視聴とディクテーション 2.和訳 3.音読と口頭英作文練習 4.重要表現の確認

### 担当者から一言

授業の進行を妨げ、他の学生が学習する機会を損なう行為(私語、携帯電話の使用、ペアワークへの不参加等)をする者の受講は認めません。  
なお20分以内の電車・バスの延着届については考慮しません。雨天その他で遅れそうな場合は時間にゆとりを持って移動してください。欠席をし

講義名	英語 B (充実コース) (環境 )				担当教員	佐久間 思帆	
講義コード	1110462	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG202						

#### 授業概要

日本語字幕に頼らずに、アメリカで制作されたテレビドラマ"FULL HOUSE"を楽しみます。言語は他の人と情報を伝達しあうためのものですから、他の人と関わりあわないと英語運用能力は向上しません。ですから、ほかの学生とペアになったの演習や音読練習など、授業への積極的な参加が出席の必要条件となります。内容を確実に身につけているか確認するため小テストを毎回実施します。必要であれば辞書を持参し、不明な点は各自で調べる癖をつけてください。

#### 到達目標

( 1 ) 語彙力の向上、( 2 ) リスニング力の向上、( 3 ) 読解力の向上、( 4 ) 英語での思考力の向上、( 5 ) 英語での発信力の向上

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	( 1 ) 語彙力10%、( 2 ) リスニング力10%、( 3 ) 読解力10%、( 4 ) 英語での思考力10%、( 5 ) 英語での発信力10%
レポート課題		
上記以外	50	小テスト等( 1 ) 語彙力10%、( 2 ) リスニング力10%、( 3 ) 読解力10%、( 4 ) 英語での思考力10%、( 5 ) 英語での発信力10%

6回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

#### 授業外学習

セリフをすらすらと言いながら書けるまで復習すること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

プリント並びにPDFで配布。プリントおよび音声データ等はアスポにてダウンロード可能。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (充実コース) (環境 )				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1110471	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG201						

#### 授業概要

This class is an introduction to academic skills. You will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will read articles, listen to stories, watch videos, and talk about each topic. At the same time that you use English to learn about real-world content, you will apply it to your life and compare and contrast it with Japan.

In this class, we will start to develop skills that you need not only in English but also in Japanese. These include (1) Give, agree with, and politely disagree with opinions. (2) Analyze new facts and apply them to your life. (3) Decide when information is reliable and important. (4) Understand the basic structure of conversations, things you hear, and articles you read. (5) Provide support for your ideas. (6) Participate in pair and small group discussions.

#### 到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation, (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60	Interview exam 20% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade. Story Presentation 15%, Writing and Speaking Objectives 1,2, and 3 are worth 50% each of the total grade.
レポート課題	15	Research Paper 15% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Home work 15% and In Class participation 10%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Adventures 2		Cengage National Geographic Learning	978-0-8400-3036-8
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (充実コース) (環境 )				担当教員	岡本 マイケル	
講義コード	1110472	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG202						

#### 授業概要

In this communication skills course, you will develop all four of your English skills (listening, speaking, reading, and writing). You will also improve your ability to connect different ideas to one another when speaking and listening. Finally, you will gain an understanding of different countries and develop your ability to communicate with people from different cultures and languages.

Each week, you will study a different country or culture. You will then be asked to write and talk about that place in class. There will be weekly writing homework assignments. Although I don't expect perfect grammar or conversation skills, I do expect you to try your best.

#### 到達目標

Students will be able to speak English with (1) good pronunciation ), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly, memorize required material) and (3) good delivery (clear voice and good volume, address all class topics adequately, produce the required quantity of speech, apply class material such as vocabulary). Their English will also be (4) grammatically correct.

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Interview exam 15% Each Speaking Objective is worth 25% of the total grade.
レポート課題	25	Weekly Culture report 25% Writing Objectives 1 & 3 are worth 25% and Writing Objective 2 is worth 50% of the total grade.
上記以外	25	Homework 10% and In Class participation 15%

Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Globe Trotters	Carmella Lieske	Cengage Learning	978-1-285-19750-0
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (環境)					担当教員	岡本 マイケル
講義コード	1110472	単位数	1	開講期	後期		
ナンバリング番号	201ENG202						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	Class orientation	Introduce the course, self introductions, ice breaking activities
第2回	Spain	Talk about Spanish culture. Talk about customs and immigration.
第3回	China	Talk about Chinese culture. Talk about asking questions at a hotel reception desk.
第4回	Peru	Talk about Peruvian culture. Talk about checking-in at a hotel.
第5回	Pair interview test	In pairs, students will recite one of the units we have covered in class. Unit to be determined at random.
第6回	Japan	Talk about Japanese culture. Students will describe their home culture.
第7回	U.S.A, New York	Talk about American culture. Students will practice giving and receiving directions.
第8回	Antartica	Talk about Frozen, Karaoke, and the effects of understanding multiple languages.
第9回	India	Talk about Indian culture. Students will practice how to bargain and negotiate
第10回	New Zealand	Talk about New Zealand culture and extreme sports.
第11回	Africa	Talk about African culture. Students will practice describing items.
第12回	Culture research paper	Culture research paper is due. Students will talk about their paper in pairs and small groups in English. If time, talk about Cambodian culture.
第13回	Egypt	Talk about Egyptian and Italian culture. Talk about ordering at a restaurant. Explain Final presentation.
第14回	Review for Final	Give students time to prepare and practice for Final group presentation.
第15回	Final presentation	Students give final presentation in groups.

担当者から一言

You must do your homework before class each week so that you can fully participate in the classroom activities. Please bring a dictionary to class.

講義名	英語 A (展開コース) (環境 )				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110631	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG203						

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。  
(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEIC TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ(スマートフォンでも計測機能があればOK)を持ってきてください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰(監修)	日本能率協会マネジメントセンター	978-4820749592
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (展開コース) (環境 )				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110632	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- (1) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。(2) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。  
(3) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します(40%)。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標(2)に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し(30%)、到達目標(3)に関しては、各回の小テストで評価します(30%)。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEIC TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰(監修)	日本能率協会マネジメントセンター	978-4820749592
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (展開コース) (環境 )				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1110641	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG203						

#### 授業概要

この授業では、文法、リーディング、リスニングの能力を問題演習によって総合的に高めることを目的とする。毎回現在完了形や仮定法、比較構文などの特定の文法事項がフォーカスされているので、体系的に英語を学びつつ、後期のTOEIC対策に備えてもらいたい。また、英語での1分間スピーチも毎回行うので、スピーキングの練習も日常的に行ってもらうことになる。

#### 到達目標

- (1) TOEICに必要な文法知識・読解力・聞き取り能力の基礎力をつける
- (2) 単語テストを通じて語彙を増強する
- (3) スピーチなどの練習を通じて積極的に英語でコミュニケーションを取れるようになる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	出題範囲は教科書で学習した内容を中心とする。評価基準の詳細は下記に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	単語テストの平均点...10点 中間まとめテスト...20点 授業への貢献度...30点

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。  
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

#### 授業外学習

- ・毎回冒頭で単語テストを実施するので、新出単語は事前に覚えておくこと(リストは毎回こちらで準備します)。
- ・Grammar Sectionの問題、Reading Sectionの文章はあらかじめ予習しておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	総合英語パワーアップ(中級編)	JACETリスニング研究会	南雲堂	978-4-523-17716-6
2				
3				

基本的に教科書の内容をすべて網羅するが、中間テストの結果を見て文法・読解・リスニングのうち特定の分野を重点的に取り組む場合もある。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (環境)				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1110641	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG203						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	授業の進め方・評価方法の説明、自己紹介
第2回	Unit 1 Art (文の構成 語・句・節・文)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第3回	Unit 2 Fairy Tales (主部を見分ける)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第4回	Unit 3 Job Hunting (目的語になるもの)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第5回	Unit 4 Historical Figures (補語になるもの)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第6回	Unit 5 Love (基本5文型)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第7回	Unit 6 Health (動詞1 完了時制・句動詞)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第8回	これまでの総復習・中間テスト	これまでの総まとめ、中間テスト
第9回	Unit 7 Shopping (動詞2 知覚動詞・使役動詞)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第10回	Unit 8 Entertainment (修飾語になるもの1：句のレベル)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第11回	Unit 9 Things Japanese (修飾語になるもの2：節のレベル)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第12回	Unit 10 Household Work (代名詞)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第13回	Unit 11 Sports (比較構文)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第14回	Unit 12 Folklore (文の伝達方法)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習
第15回	Unit 13 Personality (仮定法)	1分間スピーチ、単語テスト、文法・読解、リスニング演習

担当者から一言

ヨーロッパ諸国の文化や英米の映画・音楽のこともできる限り紹介して、海外に興味を持ってもらえるような工夫を行いたいと思っておりますので、一緒に楽しく学習しましょう！

講義名	英語 B (展開コース) (環境 )				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1110642	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

#### 授業概要

前期授業の様子を見て教科書を決定しますので、後期授業開始前にもう一度シラバスをご参照ください。

#### 到達目標

教科書決定後にお知らせします。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 A (展開コース) (環境 )				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1110651	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG203						

#### 授業概要

文理の如何に関わらず、TOEICに慣れ親しみ、高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達度を知るうえで参考かつ励みとなる。本授業では、TOEICのテスト形式を十全に理解するとともに、オーバーラッピングやシャドーイングなどの音読訓練法を積極的に導入し、発音の強化を目指す。前期は特にオーバーラッピングの練習を習慣づける。毎回授業冒頭で、予復習状況を確認するための小テストが実施される。ペアでの音読練習、TOEIC問題の解答作業や、各ユニットのテーマに関連した映画のワンシーンを参考に会話練習を行ったりするため、受講者の積極的な授業参加が必要不可欠となる。また語彙力増強のため、隔週で単語帳作成の課題が出され、前期中2回提出する。

#### 到達目標

- (1) オーバーラッピングの練習を行う習慣を身につけ、英語らしいリズム・発音に慣れる
- (2) 予習・復習の習慣を定着させ、専門分野やビジネス関連の語彙・表現力を習得
- (3) TOEICの性質を十分に理解し、制限時間内に正答率の高い解答を導く

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 (3) について、期末テスト(40%)で評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 (1) について、到達度確認テストを2回行い、全体の30%として評価。 到達目標 (2) について、各回の小テスト(20%)および単語帳作成課題提出(10%)にて全体の30%として評価。

#### <出席について>

授業への積極的な参加は前提である。よって、出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

#### 授業外学習

授業の入念な復習・予習が毎回宿題として課される。その際、オーバーラッピングやシャドーイングの技法を用いること。授業冒頭に実施する小テストは、通常前回授業の内容と単語帳から出題される語彙・表現理解テストである。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TOEIC Test: On Target Book 2	大賀 リエ	南雲堂	4-523-17672-5
2				
3				

初回授業でテキストの説明・導入を予定しているため、各自必ず購入を済ませて持参すること。また、受講者自らが問題に取り組み、理解を深めて

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### <辞書について>

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

#### 履修資格



講義名	英語 B (展開コース) (環境 )				担当教員	吉田 亞矢	
講義コード	1110652	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

#### 授業概要

文理の如何に関わらず、TOEICに慣れ親しみ、高スコアを取得しておくことは、将来の就職活動において有利となるばかりではなく、自身の英語学習の上達度を知るうえで参考かつ励みとなる。本授業では、TOEICのテスト形式を十全に理解するとともに、オーバーラッピングやシャドーイングなどの音読訓練法を積極的に導入し、発音の強化を目指す。後期は特にシャドーイングの練習を習慣づける。毎回授業冒頭で、予復習状況を確認するための小テストが実施される。ペアでの音読練習、TOEIC問題の解答作業や、各ユニットのテーマに関連した映画のワンシーンを参考に会話練習を行ったため、受講者の積極的な授業参加が必要不可欠となる。また語彙力増強のため、隔週で単語帳作成の課題が出され、後期中2回提出する。

#### 到達目標

- (1) シャドーイングの練習を行う習慣を身につけ、英語らしいリズム・発音に慣れる
- (2) 予習・復習の習慣を定着させ、専門分野やビジネス関連の語彙・表現力を習得
- (3) TOEICの性質を十分に理解し、制限時間内に正答率の高い解答を導く

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	到達目標 ( 3 ) について、期末テスト(30%)および12月に学内で実施されるTOEIC IP試験結果(10%)で評価。
レポート課題		
上記以外	60%	到達目標 ( 1 ) について、到達度確認テストを2回行い、全体の30%として評価。 到達目標 ( 2 ) について、各回的小テスト(20%)および単語帳作成課題提出(10%)にて全体の30%として評価。

<出席について>

授業への積極的な参加は前提である。よって、出欠状況は毎回確認するが、いわゆる出席点というものはない。なお、正当な理由なく4回以上授業を欠席した場合は、単位を認めない。遅刻は3回で欠席1回とみなし、30分以上の遅刻は欠席扱いとなる。

#### 授業外学習

授業の入念な復習・予習が毎回宿題として課される。その際、オーバーラッピングやシャドーイングの技法を用いること。授業冒頭に実施する小テストは、通常前回授業の内容と単語帳から出題される語彙・表現理解テストである。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TOEIC Test: On Target Book 2	大賀 リエ	南雲堂	4-523-17672-5
2				
3				

前期と同様の教科書を用いる。後期の初回授業でテキストを使うため、忘れずに持参すること。なお、後期から受講する場合も、必ず新しいものを

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

<辞書について>

外国語学習にとって辞書は必須アイテムである。英語の電子辞書または紙媒体の辞書を必ず持参すること。なお、携帯電話やスマートフォンなどの

#### 履修資格





講義名	英語 A (展開コース) (環境 )				担当教員	坂元 敦子	
講義コード	1110661	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG203						

#### 授業概要

この授業ではノーベル賞受賞スピーチを扱ったテキストを使ってリスニング・スピーキング等のアクティビティを行い、総合的な英語力をつけることを目指す。扱うスピーチは2014年の受賞者によるもので、特に教育問題や世界のさまざまな問題に関する話題が中心である。このため、スピーチに関連する本やサイトを調べて必要な情報を集めたり、その結果や自分の意見を英語で発表したりするアクティビティもある。なお授業では実際のスピーチを映像により毎回確認し、話者の抑揚や表情、間など聴衆に訴えかけるための工夫についても考える。このテキスト以外に、Japan Timesのニュース記事、科学読み物等、クラスの関心と目的にあわせてリーディングのプリントも使用する。授業計画等は、授業の進度によって変更する場合がある。

#### 到達目標

- (1) テキスト等の英文について、背景を含め正確に理解する。
- (2) 単語力をつけ、必要なリサーチをする。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) 自分の意見やリサーチ結果を英語で発表できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	授業で学んだことをよく理解している。
レポート課題	20%	自宅で単語を調べ、リサーチをする。
上記以外	40%	授業内のアクティビティに積極的に参加する。 リサーチ結果を英語で発表できる。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Learn English through Malala's Speeches	坂元敦子ほか	英光社	
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	I an Malala	Malala Yousafzai	Back Bay Books	9780316377560
2	私はマララ	マララ・ユスフザイ	学研	978-4054058460
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (展開コース) (環境)				担当教員	坂元 敦子	
講義コード	1110662	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

#### 授業概要

この授業では観光英語のテキストを使ってリスニング・スピーキング等のアクティビティを行い、総合的な英語力をつけることを目指す。このテキストでは出入国や機内英語、現地に到着してから必要となるホテルや交通手段、レストランや大学訪問等、実際に役立つスキットが数多く紹介されているので、そのシーンを思い浮かべながらペアワークやグループワークでアクティビティを行う。なお授業では関連する航空会社や鉄道会社、レストランやホテル、銀行等のサイトも扱うので、これらを各自で事前に調べたり内容を発表したりする作業も必要となる。このテキスト以外に、Japan Timesからのニュース記事や科学読み物等、クラスの関心と目的にあわせてリーディングのプリントも使用する。またTOEICに出題される旅行や観光関連の問題をピックアップして授業内で問題に取り組む。  
授業計画等は、授業の進捗によって変更する場合がある。

#### 到達目標

- (1) テキストの英文について、背景を含め正確に理解する。
- (2) 単語力をつけ、必要なリサーチをする。
- (3) ペアやグループで英語によるコミュニケーションができ、クラスの活動に積極的である。
- (4) TOEICのスコアをのばす。
- (5) 自分の意見や課題を英語で発表できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	授業で学んだことをよく理解している。
レポート課題	20%	自宅で単語を調べ、リサーチをする。
上記以外	40%	授業内のアクティビティに積極的に参加する。 リサーチ結果を英語で発表できる。 TOEICのスコアをのばす。

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

#### 授業外学習

必ず自宅で予習をすること。単語を調べて単語帳を作る。テキストについては音声や映像を確認し、関連する本やホームページを参照すること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	TravelEnglish at Your Fingertips	島田拓司ほか	成美堂	978479145641
2				
3				

辞書を毎回持参すること。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内でプリントを配布するので、予習して授業に臨むこと。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (環境)				担当教員	坂元 敦子	
講義コード	1110662	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法の説明、英語ホームページの検索方法の説明、自己紹介等
第2回	Lesson 1	リスニング、練習問題、会話練習、空港のチェックポイントの確認。
第3回	Lesson 1	リスニング、練習問題、会話練習/リーディング。
第4回	Lesson 2	リスニング、練習問題、会話練習/リーディング。
第5回	Lesson 3	リスニング、練習問題、会話練習/リーディング。
第6回	Lesson 4	リスニング、練習問題、会話練習/リーディング。
第7回	Lesson 5	リスニング、練習問題、会話練習/リーディング。
第8回	Lesson 6	リスニング、練習問題、会話練習/リーディング。
第9回	中間発表と確認テスト	内容理解および英語によるコミュニケーションの到達度を確認する。
第10回	Lesson 7	リスニング、練習問題、会話練習/リーディング。
第11回	Lesson 8	リスニング、練習問題、会話練習/リーディング。
第12回	Lesson 9	リスニング、練習問題、会話練習/リーディング。
第13回	Lesson 10	リスニング、練習問題、会話練習/リーディング。
第14回	発表	課題発表。
第15回	発表/まとめ	課題発表とまとめ。

担当者から一言

--

講義名	英語 A (展開コース) (環境 )				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1110671	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG203						

#### 授業概要

この授業では、文法、リーディング、リスニングの能力を問題演習によって総合的に高めることを目的とする。毎回現在完了形や仮定法、比較構文などの特定の文法事項がフォーカスされているので、体系的に英語を学びつつ、後期のTOEIC対策に備えてもらいたい。また、英語での1分間スピーチも毎回行うので、スピーキングの練習も日常的に行ってもらうことになる。

#### 到達目標

- (1) TOEICに必要な文法知識・読解力・聞き取り能力の基礎力をつける
- (2) 単語テストを通じて語彙を増強する
- (3) スピーチなどの練習を通じて積極的に英語でコミュニケーションを取れるようになる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40%	出題範囲は教科書で学習した内容を中心とする。評価基準の詳細は下に添付するファイルを参照のこと。
レポート課題		
上記以外	60%	単語テストの平均点...10点 中間まとめテスト...20点 授業への貢献度...30点

欠席が4回を超えた場合は評価の対象としない。  
10分以上遅刻した場合は冒頭で行う単語テストを受けられないので、必然的に平常点が下がります。

#### 授業外学習

- ・毎回冒頭で単語テストを実施するので、新出単語は事前に覚えておくこと(リストは毎回こちらで準備します)。
- ・Grammar Sectionの問題、Reading Sectionの文章はあらかじめ予習しておくこと。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	総合英語パワーアップ(中級編)	JACETリスニング研究会	南雲堂	978-4-523-17716-6
2				
3				

基本的に教科書の内容をすべて網羅するが、中間テストの結果を見て文法・読解・リスニングのうち特定の分野を重点的に取り組む場合もある。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (展開コース) (環境 )				担当教員	村上 幸太郎	
講義コード	1110672	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

#### 授業概要

前期授業の様子を見て教科書を決定しますので、後期授業開始前にもう一度シラバスをご参照ください。

#### 到達目標

教科書決定後にお知らせします。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	英語 A (展開コース) (環境 )				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110681	単位数	1	開講期			前期
ナンバリング番号	201ENG203						

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- ( 1 ) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。( 2 ) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。  
( 3 ) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 ( 1 ) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します ( 40% )。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 ( 2 ) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し ( 30% )、到達目標 ( 3 ) に関しては、各回の小テストで評価します ( 30% )。

出欠状況は毎回確認します。授業を 4 回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEIC TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

初回授業には時間を測れるストップウォッチ (スマートフォンでも計測機能があればOK) を持ってきてください。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰 (監修)	日本能率協会マネジメントセンタ	978-4820749592
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	英語 B (展開コース) (環境 )				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110682	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

#### 授業概要

本授業は、TOEICのスコアアップを目指し、リスニングおよびリーディング能力の養成を目的とします。TOEIC頻出のテーマごとに、語彙や文法を学びながら、問題演習を行います。授業では、音読やシャドーイングなど英語を声に出して練習し、ペアワークやグループワークで実際に英語を使う訓練も積み重ねていきます。TOEICでのスコアアップには、英語の知識だけでなく、120分に耐える集中力や、200問を解ききる瞬発力も求められます。本授業ではこうした実践力を伸ばすことも念頭において、英語力向上に向けたトレーニングを行います。

#### 到達目標

- ( 1 ) TOEICリスニング問題の特徴を理解し、時間内に解答することができる。( 2 ) TOEICレベルの英文を正確にかつスムーズに音読できる。  
( 3 ) TOEICに対応できる語彙や表現知識を深める。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標 ( 1 ) に関しては、到達度確認テスト、および期末試験で評価します ( 40% )。
レポート課題		
上記以外	60	到達目標 ( 2 ) に関しては、授業中の音読活動やペア、グループワークによって評価し ( 30% )、到達目標 ( 3 ) に関しては、各回の小テストで評価します ( 30% )。

出欠状況は毎回確認します。授業を4回欠席した場合、成績評価はされませんので注意してください。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。

#### 授業外学習

毎回授業の冒頭に、確認小テストがありますので、復習をかねて家で勉強してきてください。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	『LIGHTING UP THE TOEIC TEST』	植木美千子ほか	金星堂	978-4-7647-4025-9
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	「意味順」で学ぶ英会話	田地野彰 ( 監修 )	日本能率協会マネジメントセンタ	978-4820749592
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (環境)				担当教員	渡 寛法	
講義コード	1110682	単位数	1	開講期			後期
ナンバリング番号	201ENG204						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	前期の振り返り、および後期の目標設定。
第2回	Unit 7 前半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第3回	Unit 7 後半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第4回	Unit 8 前半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第5回	Unit 8 後半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第6回	Unit 9 前半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第7回	Unit 9 後半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第8回	Review 1	ここまでの到達度確認テストを行う。
第9回	Unit 10 前半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第10回	Unit 10 後半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第11回	Unit 11 前半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第12回	Unit 11 後半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第13回	Unit 12 前半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第14回	Unit 12 後半	テキストの問題演習と音読活動を行う。
第15回	Review 2	到達度確認テスト、および、振り返りシートの作成。

担当者から一言

音読活動には慣れてきたでしょうか。「英文は舌で味わうもの！」と私の師匠はよく言っていました。今学期もさらに音読に磨きをかけていきましょう!

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境a）				担当教員	山本 洋紀	
講義コード	1130010	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	1011NF102						

#### 授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

#### 到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

#### 授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	情報リテラシー (情報倫理を含む) (環境a)					担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130010	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	101INF102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定
第2回	図書検索	文献検索の方法
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー
第5回	情報倫理 ( 1 )	インターネットの利用と安全性
第6回	情報倫理 ( 2 )	著作権、研究倫理
第7回	WORDによる文書作成 ( 1 )	基本操作
第8回	WORDによる文書作成 ( 2 )	書式
第9回	WORDによる文書作成 ( 3 )	表
第10回	WORDによる文書作成 ( 4 )	図
第11回	Excelによる表計算 ( 1 )	基本操作
第12回	Excelによる表計算 ( 2 )	書式
第13回	Excelによる表計算 ( 3 )	関数
第14回	Excelによる表計算 ( 4 )	グラフ
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成

担当者から一言

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境b）				担当教員	亀田 彰喜	
講義コード	1130020	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	1011NF102						

#### 授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要なとされる情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

#### 到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。  
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木太一編	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

#### 履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境b）				担当教員	亀田 彰喜	
講義コード	1130020	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101INF102						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	基本構成と操作	コンピュータの基本構成と操作
第2回	アカウントの設定	情報ネットワークの理論とアカウントの設定
第3回	システムの操作	情報システムとOSおよびファイル操作
第4回	情報検索	Webブラウザの操作と情報検索とネットワーク上でのセキュリティ
第5回	情報収集	インターネットによる情報収集とウィルスおよびスパイウェア
第6回	文献情報検索	図書情報検索と論文および著作等の情報検索
第7回	情報倫理	電子メールの利用と情報倫理としてのメールでのマナー
第8回	文書作成	文書作成ソフトによるレポート作成の基本の習得
第9回	レポートの基本	レポートと学術論文の概念と論文作成の基本
第10回	情報収集と加工	レポートと学術論文の書式と情報収集と加工の基本
第11回	画像等の処理	レポートと学術論文の書式と画像等の処理の基本
第12回	統計データ処理	レポートと学術論文の書式と統計データ処理の基本
第13回	論文の作成のまとめ	レポートと学術論文の作成のまとめ
第14回	課題の作成	レポート課題の作成
第15回	課題のまとめ	レポート課題と学術論文発表のまとめ

#### 担当者から一言

--



講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境c）				担当教員	山本 洋紀	
講義コード	1130030	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	1011NF102						

#### 授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

#### 到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

#### 授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）（環境c）				担当教員	山本 洋紀	
講義コード	1130030	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101INF102						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定
第2回	図書検索	文献検索の方法
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー
第5回	情報倫理（ 1 ）	インターネットの利用と安全性
第6回	情報倫理（ 2 ）	著作権、研究倫理
第7回	WORDによる文書作成（ 1 ）	基本操作
第8回	WORDによる文書作成（ 2 ）	書式
第9回	WORDによる文書作成（ 3 ）	表
第10回	WORDによる文書作成（ 4 ）	図
第11回	Excelによる表計算（ 1 ）	基本操作
第12回	Excelによる表計算（ 2 ）	書式
第13回	Excelによる表計算（ 3 ）	関数
第14回	Excelによる表計算（ 4 ）	グラフ
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成

担当者から一言

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境d)				担当教員	亀田 彰喜	
講義コード	1130040	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	1011NF102						

#### 授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要な情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

#### 到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。  
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木太一編	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

#### 履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(環境d)				担当教員	亀田 彰喜	
講義コード	1130040	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	1011NF102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	基本構成と操作	コンピュータの基本構成と操作
第2回	アカウントの設定	情報ネットワークの理論とアカウントの設定
第3回	システムの操作	情報システムとOSおよびファイル操作
第4回	情報検索	Webブラウザの操作と情報検索とネットワーク上でのセキュリティ
第5回	情報収集	インターネットによる情報収集とウィルスおよびスパイウェア
第6回	文献情報検索	図書情報検索と論文および著作等の情報検索
第7回	情報倫理	電子メールの利用と情報倫理としてのメールでのマナー
第8回	文書作成	文書作成ソフトによるレポート作成の基本の習得
第9回	レポートの基本	レポートと学术论文の概念と論文作成の基本
第10回	情報収集と加工	レポートと学术论文の書式と情報収集と加工の基本
第11回	画像等の処理	レポートと学术论文の書式と画像等の処理の基本
第12回	統計データ処理	レポートと学术论文の書式と統計データ処理の基本
第13回	論文の作成のまとめ	レポートと学术论文の作成のまとめ
第14回	課題の作成	レポート課題の作成
第15回	課題のまとめ	レポート課題と学术论文発表のまとめ

担当者から一言

--

講義名	情報科学概論（環境a）					担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130140	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	1011NF101						

#### 授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。  
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出（80%）と最終課題の達成度（20%）

#### 授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

#### 履修資格



講義名	情報科学概論（環境b）					担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130150	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	1011NF101						

#### 授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

#### 到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

#### 履修資格





講義名	情報科学概論（環境c）					担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130160	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	1011NF101						

#### 授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出（80%）と最終課題の達成度（20%）

#### 授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

#### 履修資格

講義名	情報科学概論（環境c）				担当教員	山本 洋紀	
講義コード	1130160	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	101INF101						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	エクセルの基本操作1	計算、数式
第2回	エクセルの基本操作2	グラフ
第3回	データの抽出・集計1	データの並べ替え 集計
第4回	データの抽出・集計2	自動集計 クロス表
第5回	データの特徴をつかむ1	合計 比率
第6回	データの特徴をつかむ2	平均 モード
第7回	データの特徴をつかむ3	分散 標準偏差
第8回	量的データの関連性を見る1	散布図 相関係数
第9回	量的データの関連性を見る2	相関係数の定義 類似度
第10回	量的データの関連性を見る3	相関解析演習
第11回	質的データの関連性を見る1	クロス表とその視覚化 期待度数
第12回	質的データの関連性を見る2	カイ2乗値 統計検定
第13回	回帰分析と予測1	単回帰分析 残差と決定係数
第14回	回帰分析と予測2	時系列データの分析 回帰係数の計算
第15回	最終課題	実データを用いたクロス表分析、相関解析、回帰分析の演習
担当者から一言		

講義名	情報科学概論（環境d）					担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130170	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	1011NF101						

#### 授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

#### 到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得しレポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

#### 履修資格



講義名	環境行動論					担当教員	迫田 正美
講義コード	1150050	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	312PEL302-C, 313ARC208						

#### 授業概要

本講義では、前半は基礎的学習として、人間の行動と空間、身体と環境との関係について考察するために必要な基本的な知識を習得するとともに、人間行動と環境との密接な関連性について講述する。後半では行動の場所としての環境、行動的実践の結果としての環境の形成、及び行為の規範としての慣習や文化の形成と風土性、風景との相互連関について講述する。

#### 到達目標

- (1) 毎回の講義のテーマについて適切な質問または意見を述べるができる。
- (2) 環境と行動に関する基礎的な知識について説明することができる。
- (3) 人間の行動と環境（社会・文化的コンテキスト）の相互作用について事例を挙げて述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	55	(2) (3)
レポート課題	45	(1) (2) (3)
上記以外		

#### 授業外学習

講義で示した参考文献・資料について目を通すこと

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境と人間-生態学的であることについて	滋賀県立大学環境ブックレット4	サンライズ出版	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	かくれた次元	E.T.ホール	みすず書房	
2	発生的認識論	J.ピアジェ	白水社	
3	生きた隠喩	P.リクール	岩波書店	

資料、参考書は適宜講義の中で配布、提示する。『視覚ワールドの知覚』J.J.ギブソン、『精神科学における歴史的世界の構成』W.ディルタイ、

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	人間探求学（環境建築デザイン）				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1150290	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101HUM101						

#### 授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。学科毎に1年生を少人数グループに分け、担当教員が割り当てられる。

#### 到達目標

- (1)自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えを理解する能力を身につける。  
(2)多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1)(2)各回の授業に関する小レポート（チェックシート）の提出を前提とする。レポート、プレゼンテーション等、各担当教員の評価による。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	人間探求学(環境建築デザイン)				担当教員	学科教員/芦澤 竜一/伊丹 清/ 金子 尚志/川井 操/迫田 正美/ 白井 宏昌/高田 豊文/陶器 浩一/ 轟 慎一/永井 拓生/Jimenez Verdejo Juan Ramon/ 村上 修一	
講義コード	1150290	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	101HUM101						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	授業概要	オリエンテーション
第2回	担当教員プログラム	
第3回	図書館活用ガイダンス	
第4回	担当教員プログラム	
第5回	担当教員プログラム	
第6回	担当教員プログラム	
第7回	担当教員プログラム	
第8回	中間まとめ	
第9回	担当教員プログラム	
第10回	担当教員プログラム	
第11回	担当教員プログラム	
第12回	担当教員プログラム	
第13回	担当教員プログラム	
第14回	担当教員プログラム	
第15回	まとめ	
担当者から一言		



講義名	CAD演習					担当教員	Jimenez Verdejo Juan Ramon
講義コード	1200020	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	113ARC211						

#### 授業概要

建築のデザインを考え、描き、表現する。これら一連のプロセスを行うにあたり、デジタル設計環境の活用は今や不可欠といえる。CAD(又はCAAD)とは、これら目的の作業や表現に併せた設計支援システムのことであり、建築初学時にその技術と知識を習得しておくことで、造形発想やエスキスのツールとしてだけでなく、高精度な図面作成のみならず、デザインの提案力を向上させ、ヴィジュアルプレゼンテーションを思いのままに操ることが可能となる。本演習はCADを用いた発想法、2次元図面の描画法、3次元立体の描画法、視点のシミュレーション等を通じて、上記CADの利点を全15回の演習を通して体感的に習得することを本授業の目的とする。

#### 到達目標

- (1) 中規模鉄筋コンクリート造の建築物の寸法等を図面から正確に読み取り、CAD上に描画(トレース)することができる。  
(2) 3次元CADを用いてコンピュータグラフィックスによる建築パースペクティブ画像を作図することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す各項目について、(1)を1~7回目授業での課題作品の内容(50%)で、(2)を8~15回目授業での課題作品の内容(50%)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。なお、各回の出席点を30%、課題の合計点を70%として評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト及び参考書の指定は特になし。授業中に適宜参考書を指示する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	CAD演習				担当教員	Jimenez Verdejo Juan Ramon	
講義コード	1200030	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	213ARC214						

#### 授業概要

#### 到達目標

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	アジア建築史					担当教員	川井 操
講義コード	1200060	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	313ARC318						

#### 授業概要

近代日本の建築界において、常にモデルとされ、参照されてきたのは西欧の建築である。日本の近代建築史は、英国からやってきた弱冠25歳のJ・ゴンドルの教えに始まる。西欧の近代建築技術の取得が日本の建築家にとっての第一の課題であった。近代建築の展開は日本のみならず世界中で大きな影響力をもった。しかし、そのあり方について疑問、批判が提出され始めて、既に久しい。地域には地域の建築文化の伝統があり、そのあり方が一方で見直されてきたのである。本科目では、これまであまり関心を払われてこなかったアジア（非西欧世界）の建築史について議論する。

#### 到達目標

アジアの都市建築についての基本的知識を身につける。また、空間形式の起源、形成、変容、転成、保全の原理、法則、メカニズムについて学ぶ。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	
レポート課題	40	
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

#### 授業外学習

特定のテーマについてレポートを課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	アジア都市建築史	布野修司	昭和堂	4812203163
2	東洋建築史図集	日本建築学会	彰国社	4395000878
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

世界史についての基礎的知識をもっていることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	イメージ表現法					担当教員	轟 慎一 / 高田 豊文 / 永井 拓生
講義コード	1200110	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	113ARC209						

#### 授業概要

建築・都市やランドスケープの設計にかぎらず、デザイン行為の原動力となるイマジネーションやアイデアを整理し、そのイメージを2次元および3次元で表現する力を養うことをねらいとしている。つまり、課題を通して、その答えを形にするまで、頭の中で描くことから始め、自分の手で様々な道具や素材を使って、空間を構成する感性を養うこと。自由な発想と可能性への挑戦をし、自分のイメージを表現する基礎トレーニングであり、環境建築デザインの設計入門となる。

#### 到達目標

(1) デザインの原動力となる想像力やイメージを、2次元および3次元で表現する力を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) 制作した作品とプレゼンテーション：各課題制作の評価の総合（それぞれを100点満点で採点し、平均を取る）

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	コンパクト建築設計資料集成		丸善	
2	初めての建築製図		学芸出版社	
3	手描きで映える簡単プレゼンスケッチ		エクスナレッジ	

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	エコロジー経済学					担当教員	村上 一真
講義コード	1200120	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

環境問題の多様化・複雑化による環境保全経費増加に対する負担構造のあり方や実際についての理解を目指す。講義では、環境政策を担う組織や制度、権限や予算等の移譲と役割・機能分担、政策立案や予算編成、行政評価、財政のしくみや現状とともに、費用負担（汚染者負担、受益者負担、共同負担）と受益の関係の違いなどにより設計された、国際レベル・国レベル・地方レベルの様々な環境政策手段の理論と実際について学ぶ。

#### 到達目標

(1)国・地方自治体の役割・機能に基づく行政・公共政策のしくみと現状、(2)国・地方自治体の政策実施等の原資となる財政のしくみと現状、(3)国・地方自治体の環境政策の手段や組み合わせのしくみと現状、(4)エネルギー・地球温暖化、森林政策の経済的手法のしくみと現状を理解し、説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(4)のそれぞれについて、毎回の授業中に課すレポートを12.5(50/4)％、期末試験12.5(50/4)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(4)のそれぞれについて、毎回の授業中に課すレポートを12.5(50/4)％、期末試験12.5(50/4)％で評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

毎回の授業中にレポートを課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	水と森の財政学	諸富徹・沼尾波子	日本経済評論社	
2	環境政策のポリシーミックス	諸富徹	ミネルヴァ書房	
3				

適宜、資料を配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	エコロジー経済学				担当教員	村上 一真	
講義コード	1200120	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス、環境財政に係る政策、組織の概要	ガイダンス、環境財政に係る政策、組織の概要
第2回	環境政策に係る国・地方自治体の役割と直接規制	環境政策に係る国・地方自治体の役割と直接規制
第3回	公共政策のかたちと策定・実施プロセス	公共政策のかたちと策定・実施プロセス
第4回	地方自治体の役割	地方自治体の役割
第5回	地方財政のしくみと現状	地方財政のしくみと現状
第6回	財政と政策評価	財政と政策評価
第7回	環境政策の役割分担（分権化とグローバル化）	環境政策の役割分担（分権化とグローバル化）
第8回	環境政策における費用負担原理	環境政策における費用負担原理
第9回	環境税、排出権取引の機能（インセンティブ税、財源調達）	環境税、排出権取引の機能（インセンティブ税、財源調達）
第10回	地球温暖化、水資源、廃棄物分野での取組み	地球温暖化、水資源、廃棄物分野での取組み
第11回	排出権取引に係る取組み1	排出権取引に係る取組み1
第12回	排出権取引に係る取組み2	排出権取引に係る取組み2
第13回	森林環境税に係る取組み1	森林環境税に係る取組み1
第14回	森林環境税に係る取組み2	森林環境税に係る取組み2
第15回	まとめ	まとめ

担当者から一言

講義名	環境建築デザイン演習				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1200280	単位数	3	開講期			後期
ナンバリング番号	313ARC320						

#### 授業概要

この授業では、3回生前期までの授業・設計演習等の内容を踏まえ、さらにその内容を発展させる形で、少人数によるスタジオ制での演習を行う。演習の形態は担当教員により異なるが、3年生を少人数グループ(5~6名)に分け、担当教員の専門を活かした課題が出題される。

#### 到達目標

- (1)各教員が与える環境・建築デザインにかかわる課題に対し、必要となる資料の収集・分析等を適切かつ十分に行うことができる。  
(2)与えられた課題に対して、結果や自身の考え方を適切に表現することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各到達目標について、課題に取り組む姿勢、資料収集・分析の適切さ、プレゼンテーションの適切さを評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	環境・建築デザイン概論				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1200290	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	113ARC106						

#### 授業概要

環境建築デザイン学科で学ぶべき専門分野（建築設計・都市計画・ランドスケープ・建築史・環境工学・構造など）の入門として位置付ける。本学科全教員が担当し、環境と建築・都市について学ぶべき視点と方法について、それぞれの専門性をふまえ講義する。

#### 到達目標

(1) 環境建築デザインを構成する各専門分野の概要を理解し、説明することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	(1) 各回に課すレポートの採点結果を平均する。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	環境・建築デザイン概論				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1200290	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	113ARC106						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	構造デザイン	授業概要
第2回	環境・建築・都市計画	
第3回	建築計画	
第4回	ランドスケープデザイン	
第5回	建築史	
第6回	人・環境・工学	
第7回	中間まとめ	
第8回	建築論	
第9回	建築デザイン	
第10回	設計論	
第11回	環境工学	
第12回	建築構造からものづくりへ	
第13回	環境設計	
第14回	地震防災	
第15回	まとめ	
担当者から一言		

講義名	環境アセスメント					担当教員	錦澤 滋雄 / 柴田 裕希 / 杉本 卓也
講義コード	1200300	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	211FFM207, 312ETR305, 313ARC305, 314BRM394						

#### 授業概要

環境配慮の重要な手段である環境アセスメントについて、その理論と実際を論じる。アセスの意義と効果およびその限界、法制度による規定内容やそれらが導出されるに至った歴史的経緯などについて、具体事例を踏まえて解説する。またアセスにおける調査・予測・評価の方法論などの技術的側面や、自治体アセス、欧米諸国の制度や実施状況についても学ぶ。アセスは、行政の意思決定を支援する手段でもあり、この点で市民参加や社会的な合意形成の問題についても関連してくる。また、新しいアセスである、戦略アセスや持続可能性アセスメントの考え方も論ずる。

#### 到達目標

- (1) 環境アセスメントとは何か、アセスの目的と要件を説明できる。
- (2) 調査・予測・評価の具体的手法とその問題点について説明できる。
- (3) 国内外のアセス法制度の概要、日本の制度の位置づけや課題を説明できる。
- (4) SEA / SAの意義や特徴を説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	25	期末レポートを課す。
上記以外	75	授業中の課題・当日ブリーフレポートなどを課す。

#### 授業外学習

環境アセスメントに関する本や論文の他に具体事業で作成された環境アセスメントの図書(方法書、準備書、評価書)を読むことでアセスの実際をより深く学ぶことができる。下記の環境省が提供するアセス支援ネットのページなどで閲覧できる。これらの情報はレポート執筆にも役立つ。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	改訂版・環境アセスメント	原科幸彦	放送大学教育振興会	
2	都市・地域の持続可能性アセスメント	原科幸彦・柴田裕希他	学芸出版社	
3				

授業中にプリント配布する

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	環境科学概論				担当教員	小泉 尚嗣 / 泉 泰弘 / 大久保 卓也 / 籠谷 泰行 / 後藤 直成	
講義コード	1200390	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	111FFM103, 112BTR101, 113ARC102, 114BRM101						

#### 授業概要

地球環境を構成する要素と環境変化の時空間スケールを把握した上で、土壌環境ならびに陸域・水域生態系の基本的構造とこれらに見られる今日的な諸問題について学ぶとともに、これからの食料確保と環境保全のあり方を展望する。

#### 到達目標

環境変動の仕組みについて基本的な理解を得るとともに、自然環境と人間活動の関わり方について深く考察できる能力を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	期末試験の成績により評価する。
レポート課題	40	各担当教員の実施する小テストの結果を積算して評価する。
上記以外		

毎回出欠を確認する。各担当教員は授業内容について小テストを実施する。

#### 授業外学習

授業をきっかけにして自分で参考書類を読むなどしてほしい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：使用しない。プリントした資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：講義の中で必要に応じて紹介する。

#### 前提学力等

高校理科習得程度。

#### 履修資格

講義名	環境科学概論					担当教員 小泉 尚嗣 / 泉 泰弘 / 大久保 卓也 / 籠谷 泰行 / 後藤 直成
講義コード	1200390	単位数	2	開講期	前期	
ナンバリング番号	111FFM103, 112BTR101, 113ARC102, 114BRM101					

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	地球環境の成り立ち	地球の形成と歴史について学ぶ。
第2回	日本の環境の成り立ち	日本列島がどのように形成されたかについて学ぶ。
第3回	琵琶湖の環境の成り立ち	日本最大の湖：琵琶湖は日本最古の湖でもある。琵琶湖はどのようにしてできあがったのかについて学ぶ。
第4回	生態系の成り立ち	生態系の物質循環・エネルギーの流れと人間活動の影響
第5回	陸域生態系と環境問題	地域・集水域の環境問題との関係
第6回	陸域生態系と環境問題	地球環境問題との関係
第7回	環境と意識	「人はどのように環境を意識しているのか？」を考える。
第8回	環境と多角的視点	多角的視点から環境を眺めてみる。
第9回	環境と循環	物質循環の観点から環境を考える。
第10回	琵琶湖の水質変化と流域環境との かかわり	琵琶湖の水質変化と流域環境変化のかかわりについて講義を行う。
第11回	琵琶湖の環境問題について	アユ、ホンモロコ、フナ等の在来魚の減少問題に注目し、その原因として現在推定されていることについて講義を行う。
第12回	福島第一原発事故後の放射性物質 の挙動	福島第一原発事故後5年が経過し、原発から放出された放射性物質の挙動と生態系影響についてどこまでわかっているか講義を行う。
第13回	食料は足りているか?	人口問題と食料問題について解説する。
第14回	栽培植物について	栽培植物(作物)の成立、分類、特徴について解説する。
第15回	栽培体系について	連作や単作よりも環境保全効果が高いとされる輪作や同時作(間作・混作)について解説する。

担当者から一言

講義名	環境科学概論					担当教員	伊丹 清 / 芦澤 竜一 / 井手 慎司 / 上河原 献二 / 増田 佳昭 / 和田 有朗
講義コード	1200400	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	111FFM104, 112BTR102, 113ARC103, 114BRM102						

#### 授業概要

多様な形で生じる環境問題は、社会的仕組みや制度と密接な関係を持っている。環境問題の解明と解決のために必要な社会的な視点やアプローチ方法について、具体的問題を取り上げながら教授する。

#### 到達目標

次に例示するような環境問題の社会的側面について多面的に理解し説明できること。

- A 環境問題を解決することの難しさを社会的ジレンマ構造によって説明できる。
- B すまっという行為と環境との関わりを多面的に説明できる。
- C 農業の環境に対する正負の影響と政策対応について説明できる。
- D 地球環境問題と持続可能な開発の基本的な事項について説明できる。
- E 緑化によるヒートアイランド緩和効果と廃棄物処理システムおよびごみ減量化について説明できる。
- F 建築と環境との関わりを多角的に説明できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	環境問題の社会的側面について多面的に理解し説明できること
レポート課題		
上記以外	50%	各回の小テスト

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書は講義の中で紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	環境科学概論					担当教員	伊丹 清 / 芦澤 竜一 / 井手 慎司 / 上河原 献二 / 増田 佳昭 / 和田 有朗
講義コード	1200400	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	111FFM104, 112BTR102, 113ARC103, 114BRM102						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	環境問題へのアプローチ - 社会的ジレンマとゲーム理論 -	環境問題に対するいくつかのアプローチ方法について紹介する。まずは、環境問題の根底にある社会的ジレンマの構造をゲーム理論によって説明する。
第2回	環境問題へのアプローチ - 社会的ジレンマと戦略活用行動 -	社会的ジレンマ構造は解消できるのか？ すべての社会の仕組みやルールは戦略活用行動として、社会的ジレンマ構造を解消するために存在する。
第3回	環境問題へのアプローチ - 社会心理学 -	人間とは不合理な生き物である。なぜ意識ではわかっている環境配慮が行動につながらないのだろう。心理学的なアプローチ例を紹介する。
第4回	地球環境問題とは何か	地球環境問題とは何か。どのような問題が起きているのか、どのように認識されてきたのか。国際社会はどのように対応してきたのか。事例として温暖化問題を取り上げる。
第5回	持続可能な開発とは何か	持続可能な開発とは何か。その考え方はどのように形成されたのか。また、事例として、国内の国立公園制度と国際的なアフリカソウ論争を取り上げる。
第6回	食料問題と環境問題	人類が歴史的に直面してきた食料問題と環境問題。私たちはいま、この二つの問題に、どのようなスタンスで取り組むべきなのだろうか。アマゾンの熱帯雨林を伐採して進む大豆増産を事例に、両者の
第7回	農業環境問題をどうとらえるか	人間は、食料と環境をどのようにしてコントロールできるのだろうか。農業がもたらす環境破壊はどのようにして抑制することができるのだろうか。「外部性」の概念を中心に、考え方を整理してみ
第8回	琵琶湖と水田農業	田植え時期に代かき排水で激しく濁る宇曾川。発生する漁業被害。いわゆる「農業濁水問題」である。私たちの目前にある水田農業と琵琶湖との共存を、具体的に考える。
第9回	住まうという行為と気候	気候・風土に培われ定着しそして残ってきた民家、マンション・プレファブ住宅に見られる高気密高断熱な住戸、そして環境共生住宅、これら住まいを比較し、住まう行為と気候との関わりを考える。
第10回	住まうという行為と水	飲料用や炊事・洗濯・入浴用を始めとした住まう行為に関わる水について見ていながら、地域の水環境との接点を考える。加えてヒートアイランド現象と水との関わりについても紹介する。
第11回	住まうという行為とエネルギー	電気・ガス・油という形で日常接するエネルギーと住まいの関係を見つめなおすとともに、太陽光・熱などの自然エネルギー利用と住まいとの新しい関係を、例を紹介しながら見ていく。
第12回	緑の計画による都市熱環境の改善策	植生は多様な機能や環境効果をもっており、気候の緩和効果は植生の蒸散と樹葉による緑陰の作用によるところが大きい。主にヒートアイランド緩和の面から都市熱環境を改善する緑の計画のあり方を
第13回	都市の廃棄物処理システム	日常生活および産業活動から発生する廃棄物(ごみ)の処理システムについて説明し、その効果と現状の課題および循環型社会の形成をめざした取り組み等を紹介する。
第14回	環境と建築 - 歴史的考察	歴史において、建築やまちづくりと環境がどのような関係をもってきたか考察する。
第15回	環境と建築 - 現在から未来へ	20世紀以前の建築を振り返りながら、21世紀における環境と関係をつくる建築の役割や可能性について考察する。
担当者から一言		

講義名	環境学原論				担当教員	村上 修一	
講義コード	1200440	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	212BTR201						

#### 授業概要

本科目は、2015年度以前入学者を対象とする科目である。

本科目は、これから環境科学に関わる専門的な学習や研究を進めようとする履修生を対象として、環境問題にどう取り組めるのか、いかに取り組むべきか、視野を広げ考えを深めることを目的とする。具体的な題材として、専門家あるいは一般市民として必ず関わりを有することになる川の問題をとりあげる。まず、国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。次に、川の未来像の決め方における問題点を特定できるようにする。その上で、川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようにする。

#### 到達目標

- (1) 国内における川の未来像の決め方について現状を理解する。
- (2) 川の未来像の決め方における問題点を特定できるようにする。
- (3) 川の未来像の決め方に対して改善策を案出できるようにする。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標 (1) : ワークシート1 (30%) 到達目標 (2) : ワークシート2 (30%) 到達目標 (3) : ワークシート3 (40%)

ワークシート1, 2, 3は、それぞれ第5, 10, 14回の授業時間内に履修生が記述し、回収される。第6, 11, 15回に解説が行われ、履修生は理解を深める。

#### 授業外学習

授業時間内に紹介される参考図書資料や参考サイトを閲覧すること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	第十堰日誌	姫野雅義	七つ森書館	978-4822811426
2	吉野川住民投票 市民参加のレシピ	武田真一郎	東信堂	978-4798911922
3	再帰的近代の政治社会学 吉野川可動堰問題と民主主義の実験	久保田滋 他	ミネルヴァ書房	978-4623050826

授業時間内に参考図書資料や参考サイトを紹介する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	環境学原論					担当教員	村上 修一
講義コード	1200440	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	212BTR201						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	あなたにとって川とは？	川との関わりを再認識し、川の未来を考えることの重要性を意識するようになる。
第2回	川の未来像を決める5W1H	国内における川の未来像の決め方について基本を理解する。
第3回	川の未来像を決める最初の一步	河川整備基本方針の内容を理解する。
第4回	川の未来像を決める具体的な内容とは？	河川整備計画の内容を理解する。
第5回	ワークシート1	国内における川の未来像の決め方について理解したことを書いてみる。
第6回	ワークシート1の解説	国内における川の未来像の決め方について理解を深める。
第7回	これだけは変えられない？	川の未来像を決める二重構造 - 河川整備基本方針と河川整備計画との間に存在する問題点を理解する。
第8回	川は「溝」なのか？	河道主義にもとづく川の未来像の決め方について現状と問題点を理解する。
第9回	川の未来像を決める「みんな」とは？	流域委員会の現状と問題点を理解する。
第10回	ワークシート2	川の未来像の決め方における問題点を特定し書いてみる。
第11回	ワークシート2の解説	川の未来像の決め方における問題点について理解を深める。
第12回	国内の事例にはどのようなヒントがある？	川の未来像の決め方はどうあるべきか、新たな方向を示す国内の事例について理解しヒントを得る。
第13回	海外の事例にはどのようなヒントがある？	川の未来像の決め方はどうあるべきか、新たな方向を示す海外の事例について理解しヒントを得る。
第14回	ワークシート3	川の未来像の決め方に対して改善策を案出し書いてみる。
第15回	ワークシート3の解説	川の未来像の決め方に対する改善策について理解を深める。
担当者から一言		

講義名	環境監査				担当教員	池北 實	
講義コード	1200480	単位数	2	開講期			前期集中
ナンバリング番号	211FFM204, 312ETR303, 313ARC304, 314BRM392						

#### 授業概要

地球温暖化防止をはじめとした環境問題の解決には、各組織の継続的な取り組みが欠かせない。このためには、経営に環境マネジメントシステムを導入することが不可欠とされ、多くの組織で導入されている。一方、マネジメントシステムには公正性と透明性が必要である。その健全性を確保し運用の実態を検証するために監査が必要となる。

本講では、環境マネジメントシステム（ISO14001）及び環境監査（ISO19011）を中心に学び、環境マネジメントシステム及びそのチェック機能としての環境監査のあり方や手法を理解する。更に、環境政策、企業の環境対応の現状、森林認証など監査（認証）の多様性を学ぶ。

キーワード：環境監査、内部監査、環境マネジメントシステム、ISO14001、ISO19011

#### 到達目標

- (1) 地球環境問題及び対応する取り組み並びに環境管理に関する国際規格について概要を説明できる。
- (2) 環境監査の基準となるISO14001環境マネジメントシステム規格について、全体構築を含めて説明できる。
- (3) ISO19011マネジメントシステム監査のための指針に準拠した内部環境監査の運用を説明できる。
- (4) 多様な分野における各種マネジメントシステムの特徴や政策科学の視座での手法を説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1) 第1回～第2回：各1回の演習5%、小テスト5% (2) 第3回～第6回：各1回の演習15%、小テスト15% (3) 第7回～第12回：各1回の演習20%、小テスト20%

#### 授業外学習

小テストの一つは、内部環境監査の理解度テストとして位置づけて、「内部環境監査員養成講座修了証」授与の条件にもなります。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは、毎回講義でプリントを配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

鈴木敏央著「新・よくわかるISO環境法」(ダイヤモンド社)

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	環境監査					担当教員	池北 實
講義コード	1200480	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	211FFM204, 312ETR303, 313ARC304, 314BRM392						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス 授業方針	・地球環境問題とISO14001環境マネジメントシステム規格の制定 ・BS7750環境管理・監査システムの概要
第2回	ISO14001支援ツール規格と概要	・環境監査/ISO19011 ・環境パフォーマンス評価/ISO14031
第3回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の解説(1)	・規格要求事項 / ISO14001:2015とISO14001:2004の比較
第4回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の解説(2)	・規格要求事項 / ISO14001:2015とISO14001:2004の比較
第5回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の解説(3)	・規格要求事項 / ISO14001:2015とISO14001:2004の比較
第6回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の解説(4)	・規格要求事項 / ISO14001:2015とISO14001:2004の比較
第7回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の運用(1)	・環境側面集計と環境影響評価の手法、環境不適合の管理
第8回	ISO14001環境マネジメントシステム規格の運用(2)	・環境法規の体系、主要環境法規の概要
第9回	環境監査(1)	・環境監査の種類、環境監査のシステム、環境監査の実施プロセス ・ISO19011マネジメントシステム監査のための指針の解説
第10回	環境監査(2)	・監査計画と監査チェックリストの作成
第11回	環境監査(3)	・内部監査/是正処置・予防処置報告書の作成、演習とレビュー(1)
第12回	環境監査(4)	・演習とレビュー(2)
第13回	中小事業者向け環境マネジメントシステム	・エコアクション2.1、KES、エコステージ ・ISO14005段階的実施環境マネジメントシステム規格
第14回	監査の多様性	・品質、情報セキュリティ、食品安全、森林認証
第15回	政策科学から見た環境マネジメントシステム	・政策手法、政策事例、企業の対応

担当者から一言

--



講義名	環境技術				担当教員	宮崎 慎也	
講義コード	1200510	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	413ARC307,414BRM388						

#### 授業概要

近代以降、建築物に要求される環境性能は急速に多様化・高度化しており、この過程の中で建築デザインにおける環境技術の位置づけも高まっている。また、地球環境負荷の軽減、省エネルギーに対する社会的要請も一層強まっており、環境技術の知識や原理の理解は、建築デザインを行う上で必須のリテラシーとなっている。

本講義では、環境技術の進化と建築デザインの変化の過程を追いながら、環境工学の基礎的な原理・知識から、環境要素技術、そして実際の建築デザインにおける応用事例までトータルに学習することで、建築デザインにおける環境技術の重要性を理解し、建築デザインにおける実践的な知識を習得する。

また、環境技術の原理や事例の学習を通して、低炭素社会を実現していく上での、技術的課題、社会的課題について自ら問題意識を持って、設計や研究活動に取り組めるようになることが目標である。

#### 到達目標

- (1) 環境技術の原理と手法が理解できる。
- (2) 建物デザインと環境技術の相互関係を、実際の建築物の断面図や詳細図を読み取りながら図式的に理解できる。
- (3) 現代建築における環境技術の位置づけと、背景を理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60	到達目標(1)～(3)について同じ比率で評価する。
レポート課題	20	環境建築や環境都市などの事例収集に関するレポート課題を課す。到達目標(1),(2)について同じ比率で評価する。
上記以外	20	講義ごとに、それぞれのテーマに応じた小課題を課す。到達目標(1)～(3)について同じ比率で評価する。

#### 授業外学習

講義で紹介できる事例は限られているので、自発的に雑誌や論文などの資料を探して、予習復習すること。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	INVISIBLE FLOW 省エネルギー建築ガイド	省エネルギー建築ガイド編集委員会	建築環境・省エネルギー機構,	
2	環境としての建築	レイナー バンハム	鹿島出版会	4306052605
3	設計のための建築環境学	日本建築学会	彰国社	978-4-395-00894-0

#### 前提学力等

建築設備・環境物理に関する基礎的理解。  
現代建築史と建築設計論の基礎的理解。

#### 履修資格



講義名	環境技術史				担当教員	白井 宏昌	
講義コード	1200520	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	313ARC316						

#### 授業概要

本講座では「建築」が作り出す「環境」を、それを支える技術とその背後にある思想の2つの側面から、日本のみならず世界の事例を通して歴史的に考察するものである。また「建築」を「社会」との関わりから見つめることで、「環境」の持続可能性を「社会」的な持続可能性と密接に結びつけていることを学習する。本講座では「環境」を建築内部の問題としてだけでなく、自然との関わり、社会との関わりから考察し、これからの建築を考えるための糧とすることを意図している。

#### 到達目標

- (1) 建築が作り出す「環境」を支える技術の歴史の変遷が理解できる
- (2) 建築史における「環境」と「社会」の多様な関わりを理解できる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	90	到達目標(1)および(2)について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す
上記以外	10	講義への出席率を評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	環境共生デザイン				担当教員	金子 尚志	
講義コード	1200540	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号							

#### 授業概要

環境共生とは人間が快適な生活環境を求めながら、地球環境や地域環境に与える負荷を最小限にすることである。したがって、環境共生は持続可能性と同次元の言葉である。本講義では地球環境のさまざまな問題を提起し、とりわけ地球温暖化をクローズアップして省エネルギーとCO2削減に関わる技術的な問題と人間のライフスタイルを取り上げる。

本講義の主な内容は以下の通りである。

- ・環境共生、持続可能性の概念を導入し、建設活動における持続可能性について述べる。
- ・日本の気候条件を説明し、外界気候条件と都市・建築システムの関係について論述する。
- ・都市における環境共生技術を概説する。
- ・住宅と事務所建築における環境共生技術を概説する。
- ・持続可能なライフスタイルについて述べる。

#### 到達目標

未定

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	未定	未定
レポート課題	未定	未定
上記以外	未定	未定

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	環境共生論				担当教員	金子 尚志	
講義コード	1200542	単位数	2	開講期			後期集中
ナンバリング番号	313ARC309						

#### 授業概要

環境共生とは人間が快適な生活環境を求めながら、地球環境や地域環境に与える負荷を最小限にすることである。したがって、環境共生は持続可能性と同次元の言葉である。本講義では地球環境のさまざまな問題を提起し、とりわけ地球温暖化をクローズアップして省エネルギーとCO2削減に関わる技術的な問題と人間のライフスタイルを取り上げる。

本講義の主な内容は以下の通りである。

- ・環境共生、持続可能性の概念を導入し、建設活動における持続可能性について述べる。
- ・日本の気候条件を説明し、外界気候条件と都市・建築システムの関係について論述する。
- ・都市における環境共生技術を概説する。
- ・住宅と事務所建築における環境共生技術を概説する。
- ・持続可能なライフスタイルについて述べる。

#### 到達目標

未定

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	未定	未定
レポート課題	未定	未定
上記以外	未定	未定

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	環境計画学					担当教員	未定*
講義コード	1200560	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	212BTR203,313ARC206						

#### 授業概要

有限な環境の中で持続可能な社会を構築するには、「計画」の概念を用いて人間の活動と環境の調和を図る必要がある。このような環境計画の考え方は、環境に関する問題や人間活動そのものが時代を追って変化の中で徐々に認識されるようになってきた。また、現在も多くの環境問題と多様な人間活動の中で、環境計画には多くの考え方や手法・技術、課題がある。この歴史の変遷を整理するとともに、現在の環境計画に関する制度的仕組みや様々な手法、エコビレッジといった最新の取り組みを国内外の事例を通じて学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 環境問題と社会的意思決定とのかかわりを理解し、想定される環境問題に対し計画によって対処する適切な手法を判断できる力を養う。
- (2) 世界のエコビレッジの思想と実践を理解する。
- (3) エコビレッジをデザインする力を養う。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		到達目標(1)については、課題評価25% 到達目標(2)については、課題評価25% 到達目標(3)については、最終課題50%
上記以外		

#### 授業外学習

課題ワークを数回課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	EDEカリキュラム日本語版 version 1.09	ガイアエデュケーション編	ガイアエデュケーション	
2	環境計画論	末石富太郎+環境計画研究会編	森北出版	4627943008
3	世界のエコビレッジ-持続可能性の新しいフロンティア	ジョナサン・ドーンソン著/緒方俊雄・松谷泰樹・古橋道代訳	日本経済評論社	4818821284

適宜、授業中にプリントを配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	環境計画学				担当教員	未定*	
講義コード	1200560	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	212BTR203,313ARC206						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	環境計画とエコビレッジ	環境計画とは / エコビレッジとは
第2回	南インドAurovilleについて	40年間継続 / 非組織化の計画 / つなぎ集めるもの
第3回	世界のエコビレッジについて	エコビレッジの起源と系譜 / 活動領域と課題 / EDEについて
第4回	世界観	ホリスティックな世界観 / スピリチュアリティとは / なぜ価値観の転換が必要なのか
第5回	世界観	創造性と芸術 / 自身と地域、地球へとつながる同心円
第6回	世界観	私が考えるミッション / カラダ同心円シート
第7回	社会	コミュニティ創設と多様性の享受 / コミュニケーション、対立、ファシリテーション、意思決定
第8回	社会	個人の自立する力とリーダーシップ / 地域、生命地域、そのグローバルな広がり
第9回	社会	私が考える組織集団のイメージ / 多様性をいかに受容するか
第10回	経済	グローバル経済から持続可能型経済へ / 道理に合った暮らしかた
第11回	経済	社会的企業 / コミュニティバンクと地域通貨
第12回	経済	LETSを考えてみよう / 地域内循環とは
第13回	環境	エコ建築 / エコロジカルフットプリント / 地場産の食べもの
第14回	環境	適正技術 / パタン・ランゲージ
第15回	環境	学習と共有 / わたしが考えるエコビレッジの姿

**担当者から一言**

講義名	環境経済学入門					担当教員	高橋 卓也 / 林 宰司
講義コード	1200581	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	211FFM203, 112ETC101, 113ARC203, 114BRM194						

#### 授業概要

人間社会にとっての環境問題を考察、解決するうえで、経済学的思考は強力なツールとなりえる。また、現代社会に生きる市民として、経済学は必要不可欠な一般教養でもある。本講義では、環境問題、資源問題を具体的に紹介し、経済学的思考に触れ、今後、どのような学びが必要かについて自覚してもらうことを目標とする。具体的問題としては、公害、地球温暖化、廃棄物、再生可能天然資源（森林、水産業）、非再生天然資源（鉱業）、土地利用などを取り扱う。それぞれの問題を中心の話題として講義を進める。この授業は、環境経済、環境経営系の一連の授業の導入にあたる。

#### 到達目標

- (1)環境・資源問題に応用される経済的政策手法のうち、簡単な事例について説明できるようになる。  
(2)経済学の基礎的理論および簡単な数式や図解を用いて、環境・資源問題について定性的・定量的な予測・評価ができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標で示す(1)および(2)について、試験(50%:(1)25%,(2)25%)で評価する。
レポート課題		
上記以外	50	到達目標で示す(1)および(2)について、各回の課題作業(50%:(1)25%,(2)25%)で評価する。

#### 授業外学習

林：課題、小テストを適宜行う。試験を実施する。  
高橋：課題、小テストを適宜行う。試験を実施する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境経済学をつかむ【第2版】	栗山浩一・馬奈木俊介	有斐閣	978-4-641-17718-5
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	環境財政					担当教員	村上 一真
講義コード	1200582	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	211FFM205, 212ETC311, 313ARC306, 214BRM293						

#### 授業概要

環境問題の多様化・複雑化による環境保全経費増加に対する負担構造のあり方や実際についての理解を目指す。講義では、環境政策を担う組織や制度、権限や予算等の移譲と役割・機能分担、政策立案や予算編成、行政評価、財政のしくみや現状とともに、費用負担（汚染者負担、受益者負担、共同負担）と受益の関係の違いなどにより設計された、国際レベル・国レベル・地方レベルの様々な環境政策手段の理論と実際について学ぶ。

#### 到達目標

(1)国・地方自治体の役割・機能に基づく行政・公共政策のしくみと現状、(2)国・地方自治体の政策実施等の原資となる財政のしくみと現状、(3)国・地方自治体の環境政策の手段や組み合わせのしくみと現状、(4)エネルギー・地球温暖化、森林政策の経済的手法のしくみと現状を理解し、説明できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)～(4)のそれぞれについて、毎回の授業中に課すレポートを12.5(50/4)％、期末試験12.5(50/4)％で評価する。
レポート課題	50	到達目標の(1)～(4)のそれぞれについて、毎回の授業中に課すレポートを12.5(50/4)％、期末試験12.5(50/4)％で評価する。
上記以外		

#### 授業外学習

毎回の授業中にレポートを課す。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、資料を配布する。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	水と森の財政学	諸富徹・沼尾波子	日本経済評論社	
2	環境政策のポリシーミックス	諸富徹	ミネルヴァ書房	
3				

適宜、資料を配布する。

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	環境財政					担当教員	村上 一真
講義コード	1200582	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	211FFM205, 212ETC311, 313ARC306, 214BRM293						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス、環境財政に係る政策、組織の概要	ガイダンス、環境財政に係る政策、組織の概要
第2回	環境政策に係る国・地方自治体の役割と直接規制	環境政策に係る国・地方自治体の役割と直接規制
第3回	公共政策のかたちと策定・実施プロセス	公共政策のかたちと策定・実施プロセス
第4回	地方自治体の役割	地方自治体の役割
第5回	地方財政のしくみと現状	地方財政のしくみと現状
第6回	財政と政策評価	財政と政策評価
第7回	環境政策の役割分担（分権化とグローバル化）	環境政策の役割分担（分権化とグローバル化）
第8回	環境政策における費用負担原理	環境政策における費用負担原理
第9回	環境税、排出権取引の機能（インセンティブ税、財源調達）	環境税、排出権取引の機能（インセンティブ税、財源調達）
第10回	地球温暖化、水資源、廃棄物分野での取組み	地球温暖化、水資源、廃棄物分野での取組み
第11回	排出権取引に係る取組み1	排出権取引に係る取組み1
第12回	排出権取引に係る取組み2	排出権取引に係る取組み2
第13回	森林環境税に係る取組み1	森林環境税に係る取組み1
第14回	森林環境税に係る取組み2	森林環境税に係る取組み2
第15回	まとめ	まとめ

担当者から一言

講義名	環境職能論					担当教員	未定*
講義コード	1200650	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	313ARC319						

#### 授業概要

現代生活にとって職能（プロフェッション）の重要性は益々増大している。とりわけ生活環境の想像、安全防災、健康、自然の保全に関わる建築家など職能人の責任は大きい。プロフェッションの現代的意義、制度、倫理などについて論述する。故内井昭蔵教授の職能とは何か、また生活環境創造に関わる職能人として大きな存在であった建築家やアーティストを例にとり、その歴史を概説し、聖職者、医師、弁護士など、他の職能との比較を通じ、その本質について理解を求め、又、諸外国でのプロフェッション成立を考察し、我が国の職能問題を明らかにする。更に環境問題と職能、環境倫理との関係について論述する。

#### 到達目標

未定

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	未定	未定
レポート課題	未定	未定
上記以外	未定	未定

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	環境政策学					担当教員	上河原 献二 / 和田 有朗
講義コード	1200700	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	211FFM206, 212BTR202, 213ARC205, 214BRM295						

#### 授業概要

環境政策が成立する背景、環境政策に関わる組織と制度、環境政策の目標と手段など、環境政策の体系に関する理解を目指す。環境政策は、環境問題を解決するために実践された様々な試みが成立の根拠となっている。現在では、汚染管理、自然環境保全、地球環境保全、さらには放射性汚染対策まで拡大している。ここでは主要な政策の形成過程にとどまらず、その実施過程と成果を概観して、当該政策の意義と問題点を説明する。さらに、政策の実効性を高めるためには、政府だけではなく多元的な主体が関与する必要があるため、環境ガバナンスを巡る課題について解説する。

#### 到達目標

- (1) 環境問題と環境政策の関連について説明できる
- (2) 環境政策の性格と機能を理解できる
- (3) 環境政策の目標と手段を説明できる

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	30	到達目標(2)について15% 到達目標(3)について15%
レポート課題	40	各授業中に作成するレポート 到達目標(1)について10% 到達目標(2)について10%
上記以外	30	中間試験 到達目標(2)について15% 到達目標(3)について15%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境社会検定試験ECO検定公式テキスト	東京商工会議所編	日本能率協会マネジメントセンター	ISBN978-4-8207-4924-0
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	環境政策学				担当教員	上河原 献二 / 和田 有朗	
講義コード	1200700	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	211FFM206, 212BTR202, 213ARC205, 214BRM295						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	環境政策とは	環境問題とは、政策とは、環境問題・環境政策の性格、環境政策の主要な枠組み、環境政策の過程と主要な参加者、環境政策の手法
第2回	環境問題の性格	環境問題、公害、環境規制、公共の利益
第3回	環境問題の歴史(1)	戦後復興と高度経済成長前半期（激甚公害の発生）、高度経済成長後半期（環境政策形成期）
第4回	環境問題の歴史(2)	低成長期と都市化・生活型公害（環境立法・政策の停滞）、環境問題の国際化と環境政策の新展開、環境基本法の制定
第5回	環境政策の主体	政策形成過程における多様な主体の役割、環境政策の形成と実施における政府の役割、環境の保全に関する基本的施策
第6回	環境政策の目標と手段	環境目標・基準の背後にある考え方、環境目標・基準設定の実際、環境政策の費用負担に関する原則
第7回	政策統合の必要性と方法	環境政策の手段と執行、政策手段の活用と組み合わせ - ポリシー・ミックスへ
第8回	環境ガバナンス	環境保全の権利と責務、政府機構改革、政策決定プロセスの改革、財政システムの改革、統合的環境政策手段の導入を推進する主体の強化
第9回	生物多様性保全	生物多様性とは、生物多様性の分布の一般的傾向、生物多様性の役割（生態系サービス）、生物多様性という概念の背景、日本における4つの危機、どうやって国際的に制度化されたか、
第10回	気候変動対策	気候変動に関する科学的知見、国際交渉の歩み、国内の温暖化対策
第11回	化学物質対策	化学物質と環境問題、基本的考え方、主要な国内法制度、主要な国際条約、石綿の事例
第12回	廃棄物対策	廃棄物問題とその対策、災害廃棄物対策、循環型社会の形成、国際的な資源循環とパーゼル条約
第13回	大気環境管理	大気汚染の歴史、途上国の大気汚染、工場大気汚染対策、自動車排ガス対策、光化学オキシダント・PM2.5、ヒートアイランド対策、越境大気汚染対策
第14回	水環境管理	水質汚濁の歴史、排水規制対策、水質保全事業（下水道・浄化槽）、健全な水循環の確保
第15回	地下水・土壌汚染対策 放射性汚染対策	地下水汚染（性質、経緯、対策）、市街地土壌汚染（性質、経緯、対策）、放射性物質による土壌等の汚染対策（事故、放射線の影響、対策）

担当者から一言

講義名	環境設計				担当教員	Jimenez Verdejo Juan Ramon	
講義コード	1200810	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	213ARC216						

#### 授業概要

#### 到達目標

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	環境設計				担当教員	金子 尚志	
講義コード	1200820	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	313ARC313						

#### 授業概要

持続可能な建築を設計するためには、快適性と省エネ性の両立を追求しなければならない。そのために太陽エネルギー、風力エネルギーといった自然エネルギーを最大限に利用できるように設計する必要がある。本講義では建築環境工学の知識を建築環境設計に応用し、日本の気候条件を概説し、それに合致した夏季のパッシブクーリングと冬季のパッシブヒーティングの設計法を実例を交えながら解説する。また、住宅および非住宅建築物の省エネルギー基準を解説し、地球環境に配慮した総合設計力を養うことを目的とする。

#### 到達目標

未定

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	未定	未定
レポート課題	未定	未定
上記以外	未定	未定

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	環境設備					担当教員	伊丹 清
講義コード	1200840	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	313ARC224						

#### 授業概要

省エネルギー・環境負荷軽減などを考慮しつつ、快適な建築内部環境をつくり・維持するための設備の手法について、その原理・技術を理解し、適切な計画ができるようになるための考え方、またその具体的な方法等について学ぶ。加えて、ヒートアイランド現象等への対策、建築設備・都市設備に関する環境負荷軽減手法や省エネルギー手法等の最新動向についても紹介する。

#### 到達目標

- (1) 快適な建築室内環境をつくり・維持するための設備の手法の具体的な原理・技術について理解し説明ができること。  
(2) 環境負荷軽減や省エネルギーのための手法、ヒートアイランド対策などと、われわれの生活環境、建築・都市設備との関わりについて理解した上で、対策を選択できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	(1) 30% (2) 20%
レポート課題	20%	レポート課題(3回程度レポート課題を出す) (1) 10%
上記以外	30%	簡単な出席レポートを毎回出す。 (1) 30%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	1級建築士受験基本テキスト 学科 (環境・設備) 第2版	大脇 賢次	彰国社	978-4-395-35005-6
2				
3				

#### 前提学力等

「建築環境工学」を履修済みであることが望ましい。

#### 履修資格





講義名	環境造形論					担当教員	迫田 正美
講義コード	1200860	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	213ARC219						

#### 授業概要

19世紀末から現代にいたる芸術・造形活動の動向とその背景・影響についての理解を深めるとともに、建築やランドスケープデザインを始めとする環境造形の要点として、空間・意味・行為の相互連関が20世紀を通じてどのように位置付けられてきたかを理解する。その上で、モダニズムから現代の建築・環境造形作品の中に、それぞれの作家がそれらをどのように表現してきたかを追うことで、環境を造形することの意味と可能性の広がりについて考える。

#### 到達目標

- (1) 近現代の造形芸術と建築デザインの歴史的な位置づけについて述べるができる。
- (2) 個々の造形作品と建築作品について、その特徴について説明することができる。
- (3) 20世紀の造形思想の流れについて説明することができる。
- (4) 各回の講義で扱ったテーマに関連する事項について説明または自分の意見を述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	55	(1) (2) (3)
レポート課題	45	(4) (2) (3)
上記以外		

#### 授業外学習

毎授業の終わりに簡単なレポートを作成する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	近代建築史	石田純一郎他	昭和堂	
2	近代建築史図集	日本建築学会編	彰国社	
3				

教科書 1 は常に授業に持参すること

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	環境造形論				担当教員	迫田 正美	
講義コード	1200860	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	213ARC219						

**授業計画**

回数	タイトル	概要
第1回	概説	人間行動と環境造形(解釈学、発達心理学、ゲシュタルト心理学、動物行動学、現象学、文化人類学などの立場から)
第2回	20世紀造形芸術の諸相(1)	表現手法と認識の型(透視図法から印象派まで)ダ・ビンチ、ミケランジェロ、ベラスケス・・・モネ、スーラ、セザンヌ他
第3回	20世紀造形芸術の諸相(2)	芸術の対象と表現の可能性(抽象と構成主義)カンディンスキー、クレー、モンドリアン、ポロック・・・ステラ、フォンタナ、ミニマリズム
第4回	20世紀造形芸術の諸相(3)	出来事としての芸術(デュシャン、マン・レイ・・・ジョン・ケージ、ウォーホール、ジャスパー・ジョーンズ他)
第5回	20世紀造形芸術の諸相(4)	「見ること」と「存在/表現すること」ハブニング、パフォーマンス、インスタレーション、アースワーク他
第6回	モダニズムの空間(1)	近代的空間の誕生(ルドゥからパウハウスまで)
第7回	モダニズムの空間(2)	ユニヴァーサル・スペースの射程(ミースvs.妹島和世)
第8回	モダニズムの空間(3)	機能と構造について(有機体と機械/芸術と工芸・・・建築)
第9回	モダニズムの空間(4)	ル・コルビュジエの作品と思想(ドム・イノシステム、モデュロール、他)
第10回	モダニズムの空間(5)	ル・コルビュジエとCIAM
第11回	モダニズムの空間(6)	ルイス・カーンの作品と思想
第12回	ポスト・モダンの諸相(1)	新しい造形理念へ(記号論、構造主義、脱構築の概念)ヴェンチュリ、ジェンクス、アイゼンマン(ジャック・デリダ)他
第13回	ポスト・モダンの諸相(2)	ベルナルド・チュミ、レム・クールハース、リベスキンド、ハディッド他
第14回	環境イメージと造形(1)	環境(場所)・意味・行為(身体図式と行為の図式)vs.アフォーダンスと直接知覚
第15回	環境イメージと造形(2)	現代における価値創出のカタチ(スーパー・フラット展より)ジャン・ボードリヤール、村上隆、ル・コルビュジエ、他

担当者から一言

講義名	環境フィールドワーク					担当教員	学部教員
講義コード	1200960	単位数	3	開講期	前期		
ナンバリング番号	111FFM102-C, 112BTC101-C, 113ARC101-C, 114BRM100-C						

#### 授業概要

実際の地域環境問題が生起するフィールドに足を運び、自分自身の五感を通して環境問題に触れ、それを図、文字、数値データに記録する方法を学ぶ。また、自分自身で記述した記録から、地域環境問題がどのような問題構造をもったものであるか、グループ討議を通して組み立てる演習をおこなう。実際には4つのテーマで授業を行う。1テーマあたり3～4週を1クールとし、各クールで別テーマの授業を受ける。

4つのグループに分かれて、3～4週（1週は3、4、5時限の合計3時限）でひとつのテーマ、合計4つのテーマについてフィールド実習・演習をおこなう。  
 テーマは「水系と生活空間」、「愛知川周辺の農村地域の自然・社会環境」、「エコキャンパス・バイオロジー」、「流域環境の構造と機能」である。各グループ実習・演習の中で1週は学外に出かけ、フィールド観察、施設・機関の見学などをおこなう。また、4回のグループ実習・演習ごとにその観察結果をまとめ、グループでプレゼンテーションを行うとともに、各個人がレポートを提出する。  
 各テーマでの授業計画については、各テーマ開始時に示される。

#### 到達目標

- (1) フィールドワークに必要な基本的スキルを身につける。
- (2) 指定された項目について、文章で表現できる。
- (3) 調査結果を考察し、その内容を他者に説明できる基礎力をつける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(項目1) フィールドワークの基本スキルの修得: 40% (項目2) 指定された項目に対する文章表現: 30% (項目3) 調査結果を考察し、それを他者に説明する能力: 30%

各項目についての成績評価方法は各テーマで異なるので、各テーマの授業開始時に説明をうけること。

#### 授業外学習

各テーマの実習・演習終了時あるいは実施中にレポート等が課されることが原則である。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	フィールドワーク心得帖 新版	滋賀県立大学環境フィールドワーク研究会	サンライズ出版	978-4883255627
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	環境フィールドワーク					担当教員	学部教員
講義コード	1200970	単位数	3	開講期	前期		
ナンバリング番号	211FFM202-C, 212BTC201-C, 213ARC201-C, 214BRM200-C						

#### 授業概要

地域環境にかかわる情報は多分野にまたがり、性質も多様である。これらの環境情報を収集し解析するために、対象地域あるいは問題対象を特定し、フィールドワークを通じて、自然調査や社会調査の基本的な手法を学んでいく。ねらいは、フィールドワークの手法を地域の環境問題の解析に適用することにより、現場に即した調査態度と解析手法、レポートに作成、発表の方法を学ぶことである。実際には9つのテーマに分かれ、その1つのテーマについて15週の授業を受ける。

学生はAからIまでの9グループに分かれる。グループ編成は学生の希望にもとづき、教員側で決定する。前期を通じて同じグループで授業を受ける。授業の成果を報告集として作成することを目標とする。各テーマでの授業計画については、授業開始時に示される。

#### 到達目標

- (1) なんらかの課題に対し、教員の指導の下でフィールドデータを取ることができる。
- (2) 取得したデータに対し、基礎的な分析を行うことができる。
- (3) データの分析結果に基づき、論理的に議論できる。
- (4) データの分析結果を適切な文章で表現できる。
- (5) 初歩的な報告書を書くことができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(項目1) フィールドワークのパフォーマンス: 60% (項目2) データ分析のパフォーマンス: 10% (項目3) プレゼンテーションのパフォーマンス: 10%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	環境フィールドワーク					担当教員	学部教員
講義コード	1200980	単位数	3	開講期	通年集中		
ナンバリング番号	311FFM302-C, 312PEL301-C, 313ARC301-C, 314BRM310-C						

#### 授業概要

各教員が提示するテーマごとのグループに分かれ、その教員の指導のもとで15週45講分の時間を用い、フィールドワークを主体とした調査を行ない、調査報告書を作成する。

授業計画は、各教員によって異なる。  
4月に環境フィールドワーク委員会から配布される「各グループのテーマおよび内容」を参照のこと。そのうえで、環境フィールドワーク委員会の指示にしたがい、どのテーマのグループに所属したいかを記した希望票を提出すること。

#### 到達目標

- (1) 特定の課題に対し、教員の指導を受けつつ自発的にフィールドデータを取ることができる。
- (2) 取得したデータに対し、専門的知見を交えた分析を行うことができる。
- (3) データの考察を行い、その結果を適切な文章で表現できる。
- (4) 考察を交えた報告書を書くことができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	(項目1) フィールドワークのパフォーマンス: 60% (項目2) データ分析のパフォーマンス: 20% (項目3、4) 報告書作成のパフォーマンスおよび文章の質: 20%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	環境フィールドワーク					担当教員	学部教員
講義コード	1200980	単位数	3	開講期	通年集中		
ナンバリング番号	311FFM302-C, 312PEL301-C, 313ARC301-C, 314BRM310-C						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	個別クラス	各担当教員の指示に従うこと。
第2回	個別クラス	
第3回	個別クラス	
第4回	個別クラス	
第5回	個別クラス	
第6回	個別クラス	
第7回	個別クラス	
第8回	個別クラス	
第9回	個別クラス	
第10回	個別クラス	
第11回	個別クラス	
第12回	個別クラス	
第13回	個別クラス	
第14回	個別クラス	
第15回	個別クラス	

担当者から一言



講義名	環境倫理学					担当教員	土屋 正春
講義コード	1201080	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

#### 到達目標

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	環境公正論				担当教員	土屋 正春	
講義コード	1201085	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	312ETC304,313ARC207						

#### 授業概要

#### 到達目標

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	基礎数学					担当教員	山崎 惣治郎
講義コード	1201110	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	111FFM105, 112PEL101, 113ARC104, 114BRM190						

#### 授業概要

自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、数学的な見方・考え方の力を身につけ、様々な分野で数学が利用されていることを学習する。  
 授業概要（要約版：印刷用） 自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、数学的な見方・考え方の力を身につけ、様々な分野で数学が利用されていることを学習する。

#### 到達目標

(1)漸化式が解けること。(2)数列の極限が求められること。(3)ベクトル・行列の扱いに慣れること。(4)いろいろな曲線の表し方を理解すること。(5)確率の計算・確率分布・平均・分散が求められること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	期末考査
レポート課題	30	出席を含む
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	基礎数学					担当教員	山崎 惣治郎
講義コード	1201110	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	111FFM105, 112PEL101, 113ARC104, 114BRM190						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	いろいろな数列	
第2回	漸化式	漸化式を解き、数列の極限を求める。
第3回	数列の極限	
第4回	級数	
第5回	平面上のベクトル	
第6回	ベクトルの内積	
第7回	空間のベクトル	
第8回	行列	行列の便利さを知る。
第9回	行列の累乗	
第10回	一次変換	
第11回	2次曲線	
第12回	曲線の媒介変数表示	
第13回	極座標と極方程式	色んな発想を知る。
第14回	確率	宝くじの「夢」を知る。
第15回	確率分布	
担当者から一言		

講義名	基礎数学					担当教員	山崎 惣治郎
講義コード	1201120	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	111FFM106, 112PEL102, 113ARC105, 114BRM191						

#### 授業概要

自然科学の研究には、客観的手段として数学が必要になる。本科目は高校数学をベースにして、直感を重視しながら数学的な見方・考え方の力を身につけ、また環境問題を扱う上でしばしば見受けられる三角関数・指数関数・対数関数を軸として、関数の微少な変化を調べてその結果を知るための微分・積分の基礎的概念を学習する。

#### 到達目標

- (1) 三角・指数・対数関数の計算ができること。
- (2) 平均変化率・導関数の計算ができること。
- (3) 置換積分・部分積分の計算ができること。
- (4) 簡単な微分方程式が解けること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	期末考査
レポート課題	30	出席等
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	景観計画					担当教員	村上 修一
講義コード	1201160	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	212PEL307, 213ARC302, 214BRM287						

#### 授業概要

ランドスケープは、自然と人為の関わり合いをとおして形成される場の様相である。本科目では、ランドスケープの特徴や仕組みを分析して課題を抽出し、課題の解法を創造するための計画手法を学ぶ。受講生は単に知識を得るだけでなく、未来社会にふさわしい新たなランドスケープ形成手法を習得する。

- 各回の授業は以下のように実践形式である。
- (1) 目標とワークシート課題の提示
  - (2) 課題を解くために必要な手法の講述
  - (3) ワークシートの作成と採点

#### 到達目標

講述する手法を用いたランドスケーププランニングができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標について授業時間内に実施する13回分のワークシート課題の点数を合計し(100点/回, 1300点満点), 100点満点に換算して評点とする(100%)。ワークシートは授業時間中に座席間を移動する教員によって採点される。

授業に出席しても、居眠り等によりワークシート課題を行っていない場合は、その回の点数は0点となる。

ワークシートは、講義の内容によって、トレーシングペーパー上で地図を作成する形式や、小クイズ形式の場合などがある。

#### 授業外学習

本科目で習得した手法を、設計演習や卒業設計における課題制作に際して、積極的に活用し、その手法を確実に身につけてほしい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ランドスケープデザイン	佐々木葉二, 曾和治好, 村上修一, 久保田正一	昭和堂	
2	環境デザイン学 ランドスケープの保全と創造	森本幸裕, 白幡洋三郎編	朝倉書店	
3	テキスト ランドスケープデザインの歴史	武田史朗, 山崎亮, 長濱伸貴編	学芸出版社	

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	建築一般構造				担当教員	黒川 直樹	
講義コード	1201200	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	113ARC107						

#### 授業概要

建築を初めて学ぶにあたり、建築物を成立させている部位と構造・しくみを知ることによって、多様な建築技術の全体像を把握する。建築材料、架構、仕上などの基礎的な知識、世界の有名建築物家、有名建築物、歴史的建造物における使用例、また技術の歴史の変遷から最新の技術まで、実際の設計・施工の現場における諸問題にも触れて幅広く講義する。

授業内容はこれから大学で学ぶ建築講義の基礎知識となるだけでなく、社会人になってから必要となる最低限の知識を含んでいる。又、建築のおもしろさ、幅広さ、奥深さを感じる教養としてもとらえることができる。

授業は、テキスト、配布プリントの内容をパワーポイントにて説明する。毎回、簡単な宿題レポートを課し、その講評と質疑回答を説明する。

#### 到達目標

建築技術の全体像を把握する。これから建築に携わる人が必要とする建築技術専門用語を修得する。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	期末筆記試験
レポート課題	60	宿題(レポート評価)
上記以外		

出席状況も成績評価に反映する。

#### 授業外学習

テキストに準拠し、その内容を幅広く展開して総合的に講義するので、事前にテキストの該当するページを読んでおくこと。(授業計画概要の(P~P )はテキストの該当ページを示す)

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	建築構法 第五版	内田祥也編著	市ヶ谷出版社	9784870710016
2				
3				

授業に持参すること

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時にプリントを配布する

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	建築環境工学				担当教員	伊丹 清	
講義コード	1201210	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	213ARC221						

#### 授業概要

建築に関わる光・音・熱・空気などの物理的環境要素の特性を理解し、これらを室内・建築内においてコントロールするための技術の基礎を学ぶ。また、これら環境要素を刺激として知覚・認知する人間の側の特性についても理解することによって、よりよい室内環境、建築環境を実現するための方法について学ぶ。さらには、これら方法を環境負荷軽減や省エネルギー、省資源の観点も踏まえて選択できることを目指す。

#### 到達目標

- (1) 光・音・熱・空気などの物理的環境要素の基本的な特性について理解し、評価できること。
- (2) これら物理的環境要素と人の感覚との関わりについて説明できること。
- (3) これら物理的環境要素と建物との関わりについて理解し、建物はどのように人の健康・安全や省エネルギー等の社会的ニーズと関わりを持ち、影響するのかについて説明できること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	(1) 15% (2) 15% (3) 10%
レポート課題	20%	3回程度レポート課題を出す。 (1) 10% (2) 10%
上記以外	30%	簡単な出席レポートを毎回出す。 (1) 15% (2) 15%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	1級建築士受験基本テキスト 学科 (環境・設備) 第二版	大脇 賢次	彰国社	ISBN978-4-395-35005-6
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	建築環境工学					担当教員	伊丹 清
講義コード	1201210	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	213ARC221						

#### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	概論、光・光源	建築環境工学の概要、光・光のスペクトル・光源の種類とその特徴について理解する
第2回	測光量	照度などの測光量とそれらと見やすさの関係を理解する
第3回	照明法と見やすさ	こちよい視環境と照明のあり方との関係、および、モノの色と感覚との関係を理解する
第4回	面光源による照度	面光源・天空光による照度計算と立体角投射率について理解する
第5回	昼光照明	昼光光源と昼光照明、および、太陽位置について理解する
第6回	日照・日射	日影の日変化と季節変化、および、日照・日射・長波長放射を理解する
第7回	放射と外皮	放射とガラスや壁面との関係を理解する
第8回	伝熱と熱貫流	日射遮蔽と日射熱取得性能、および、熱伝達と熱貫流を理解する
第9回	断熱性能と室温変動	断熱性と蓄熱性による室温変動の変化について理解する
第10回	湿度と温熱感覚	湿度の指標と乾湿感の関係、および、6種の温熱感覚要素と2つの快適指標の関係を理解する
第11回	断熱性と防露性	壁体内の温度計算の方法と結露のメカニズム、および、結露防止策について理解する
第12回	空気汚染と換気	換気と室内空気質、および、必要換気量について理解する
第13回	自然換気	2種の自然換気とそれらによる換気量計算法について理解する
第14回	音と騒音	音について、および、騒音の評価法について理解する
第15回	室内音響	遮音・吸音と室内音響について理解する
担当者から一言		

講義名	建築環境工学演習					担当教員	伊丹 清
講義コード	1201220	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	313ARC315						

#### 授業概要

「建築環境工学」の講義内容に沿った演習・実験を行い、具体的な建築内や外部空間においての物理的環境要素のあり方を比較・考察をすることにより、各要素の空間的・時間的な特性の理解を深めるとともに、これら各要素の絶対量や変化量とわれわれの感覚との関わりについての考察を深めることを目指す。

#### 到達目標

- (1) 物理的環境要素に関する測定・評価の方法を理解し、それら結果を適切に比較・考察できること。
- (2) 建築環境工学の授業で身につけた物理的環境要素の特性・建築との関わり・人の感覚への影響などについて説明できること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	70%	(1) 40% (2) 30%
上記以外	30%	毎回、小課題の提出がある。 (1) 30%

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

建築環境工学を修得済みであることが望ましい。

#### 履修資格





講義名	建築数学・物理					担当教員	伊丹 清 / 高田 豊文
講義コード	1201250	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	113ARC108						

#### 授業概要

建築の設計には、設計製図などのデザイン・意匠の能力だけでなく、構造や環境・設備などの工学的な視点も必要となる。この授業では、構造分野や建築環境・設備分野などの環境建築デザイン学科での工学的な専門科目で用いる基礎的な数学および物理について学習する。具体的には、建築工学全般に必要な微分・積分、建築構造解析や光・熱・音・波などの解析に必要な数学・力学の基礎について学習する。

#### 到達目標

- (1) 指数関数・対数関数・微積分に関する問題を解くことができる。
- (2) 建築構造の授業の理解に必要な静力学の基礎的な問題を解くことができる。
- (3) 建築分野に現れる簡単な微分方程式を解くことができる。
- (4) 波の周波数分析の理解に必要な複素数の極形式表現に関して基礎的な問題を解くことができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標(1)および(2)について、論述式試験を行う(50%)。
レポート課題	50	到達目標の各項目について、毎回課題レポートを課す(50%)。
上記以外		

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学新入生のための数学入門(増補版)	石村園子	共立出版	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	大学新入生のためのリメディアル数学	中野友裕	森北出版	
2	なるほど虚数-理工系数学入門	村上雅人	海鳴社	
3				

#### 前提学力等

微分・積分の知識が必要であるため、「基礎数学」の単位を取得していることが望ましい。

#### 履修資格

講義名	建築数学・物理					担当教員	伊丹 清 / 高田 豊文
講義コード	1201250	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	113ARC108						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス, 関数とグラフ・三角関数	2次関数までのグラフや不等式の範囲の図示, 三角関数の基礎について学習する. 高校数学の内容の復習である.
第2回	指数関数・対数関数	指数関数および対数関数について学習する. 高校数学の内容の復習である.
第3回	微分(その1)	簡単な関数の微分, 高次微分, 偏微分について学習する.
第4回	微分(その2)	三角関数や指数関数・対数関数の微分について学習する. 高校数学の内容の復習である.
第5回	積分(その1)	簡単な関数や三角関数の定積分・不定積分について学習する. 高校数学の内容の復習である.
第6回	積分(その2)	三角関数や指数関数・対数関数の積分, 構造力学で現れる積分について学習する.
第7回	複素数(その1)	複素平面と極形式について学習する.
第8回	複素数(その2)	波の成分分析(スペクトル解析)の基礎について学習する.
第9回	簡単な微分方程式	簡単な微分方程式の解法, 構造力学で現れる微分方程式について学習する.
第10回	振動論の基礎	1自由度系の非減衰自由振動の解法について学習する.
第11回	力の基本的性質	静力学の基礎, とくに力のモーメントについて学習する.
第12回	力とベクトル	力の合成・分解, 力のつり合いについて学習する.
第13回	外力と反力(その1)	集中荷重や分布荷重が作用する梁の, 支点反力の算定方法について学習する.
第14回	外力と反力(その2)	集中荷重・分布荷重・モーメント荷重が作用する梁や構造物の, 支点反力の算定方法について学習する.
第15回	外力と反力(その3)	集中荷重・分布荷重・モーメント荷重が作用する構造物の, 支点反力の算定方法について学習する.

担当者から一言

講義名	建築生産施工					担当教員	中西 茂行
講義コード	1201260	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	313ARC223						

#### 授業概要

建築施工とは、広範な科学的理論と技術に基づいて、設計図書に示された所定の建築物を具体的に生産することを意味し、建築学における極めて重要な一分野です。本講義は、その生産プロセスにおいて与えられた諸条件に対して、広義には「工法選択技術」および「生産管理技術」を包括しているため、それらの基本を広い視野をもって習得することを目的とし、建築技術者として必要な先人たちの知識・経験によって得られた知恵から学ぶ読解力を養うことを目的としています。

#### 到達目標

- (1) 建築生産作業完了までの流れを理解し、説明できる。
- (2) 建築生産での仕事の内容など基礎的事項を理解し、説明できる。
- (3) 建築生産に携わる建築技術者（設計監理者・施工管理者）の役割を理解し、説明できる。
- (4) 実際の建物の紹介事例に対して自らの考えを述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
レポート課題	30	100点満点で採点し、60点以上を合格とする。
上記以外		

授業時間数の1/3以上欠席した者は評価対象としない。

#### 授業外学習

彦根市内や近隣地域において実際に建設中の建物を見学し、その施工について知ることは学生個々の知識習得につながるため、授業時間外の時間を利用して見学会等を実施します。設計者をめざす学生、施工管理者をめざす学生それぞれにとって本講義での知識は不可欠であるため、積極的な参加を促します。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	建築施工教科書第五版	建築施工教科書研究会	彰国社	
2				
3				

教科書以外にプリント等を配布します。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ゼロからはじめる建築の[施工]入門	原口秀昭	彰国社	
2				
3				

#### 前提学力等

設計や施工に関する一般的な建築用語を知るなど、建築に関するある程度の基礎知識（建築一般構造の履修時の知識）を有することが望ましい。

#### 履修資格



講義名	建築法規					担当教員	戸川 勝紀
講義コード	1201270	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	313ARC225, 333RED224						

#### 授業概要

法治国家の目的は、正義及び公平の原則に従って、社会を規律し、かつ法的安定性をもたらすことであり、社会秩序を維持し、国民間の利害を調整して国民に経済的・文化的に人間に値する生活を営ませることである。そして、建築基準法の目的は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することである。これらを踏まえて、都市デザイン、建築デザイン及び生活デザインを行うために、建築関係法令の役割及び規制の概説だけでなく、誘導及び取組み方も解説する。また、具体的な事例をもとに制限や可能性を解説し、都市、建築及び生活に取り巻く今日的課題と法整備の状況を解説する。

#### 到達目標

(1) 法律制度を説明できる。(2) 建築法規の目的を説明できる。(3) 都市デザインを考える上で法規制の基礎を理解できる。(4) 建築デザインを考える上で法規制の基礎を理解できる。(5) 生活デザインを考える上で法規制の基礎を理解できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	40点 期末に試験を行う。教科書1及び教科書2の持ち込み及び閲覧は可能である。 試験内容は毎回の小試験、講義内容から出題する。
レポート課題		
上記以外	60	毎回講義開始時に講義内容の小試験を実施する。教科書1及び教科書2の閲覧は可能である。 毎回の点数100点満点を4点に割り戻し 4点×15回=60点とする。

毎回講義開始時に前回講義内容の小試験を実施する。小試験結果に期末試験の結果を合計して100点(小試験合計60%+期末試験40%=100%)となる。  
なお、小試験及び期末試験は教科書1及び教科書2を持ち込み及び閲覧可とする。よって、小試験の結果が大きく影響するので遅れずに毎回出席する

#### 授業外学習

(成績評価備考2) 講義中に質問を行うので正解した学生には小試験に大きく可算する。また、授業内容に関しての意見についても小試験に可算する。発言に対しての減点はない。故に恥ずかしく思うこと無く果敢に発言を行い講義内容を習得されたい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	平成28年版建築基準法〔法令編〕	国土交通省住宅局・日本建築学会編	技法堂	
2	史上最強図解よくわかる建築基準法	大脇賢次	ナツメ社	9784816348013
3				

毎回小試験を行い、教科書1と教科書2の閲覧が可能であることから、教科書1及び教科書2を購入しないことは、単位取得が非常に困難となる。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	建築法規					担当教員 戸川 勝紀
講義コード	1201270	単位数	2	開講期	後期	
ナンバリング番号	313ARC225, 333RED224					

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	総則に関する規定（用語の定義1）	建築物、特殊建築物、建築設備、特定行政庁等の建築の一般的な用語を学ぶ。
第2回	総則に関する規定（用語の定義2）	防火関係の用語、敷地面積、建築面積、床面積の用語を学ぶ。
第3回	総則に関する規定（用語の定義3）	延べ面積、地盤面、建築物の高さ、階数の用語を学ぶ。
第4回	建築の手続きなどに関する規定	建築する前の建築確認申請、建築途中の中間検査及び工事完了後の完了検査の規定について学ぶ。
第5回	良好な室内環境に関する規定（敷地、採光、換気等）	敷地、居室の採光、居室の換気等の建築環境について学ぶ。
第6回	良好な室内環境に関する規定（建築設備）	居室の高さ、界壁、シックハウス対策、建築設備について学ぶ。
第7回	構造強度に関する規定（構造計算と構造方法）	構造耐力、構造計算、構造方法、荷重と外力等、建築構造設計の原則について学ぶ。
第8回	構造強度に関する規定（各構造規定）	木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造などの規定について学ぶ。
第9回	防火に関する規定	耐火建築物等の規制、防火地域及び防火区画について学ぶ。
第10回	避難に関する規定	廊下及び出入口、階段、排煙、非常用の照明装置、非常用の進入口、非常用の昇降機等の避難規定について学ぶ。
第11回	都市計画区域内に関する規定（道路）	都市計画区域内における建築基準法上の道路、接道、壁面線等の規定について学ぶ。
第12回	都市計画区域内に関する規定（用途地域制限）	都市計画区域内の用途地域による建物の規制について学ぶ。
第13回	都市計画区域内に関する規定（容積率、建ぺい率）	都市計画区域内の容積率及び建ぺい率の規制について学ぶ。
第14回	都市計画区域内に関する規定（高さ制限）	都市計画区域内の絶対高さ、道路斜線、隣地斜線、北側斜線、日影規制等の高さ制限について学ぶ。
第15回	街づくりに関する規定	総合設計、一段地認定、建築協定等まちづくりについて学ぶ。
担当者から一言		

建築法規は非常に難しく誰にとっても習得しにくい学問であり、行政法学者、弁護士及び裁判官でさえ、理解している人は少ない。しかし、建築士の受験科目であり、建設業界では争訟が非常に多く、建築法規は行政法の中で非常に注目されており、困難である故に武器となる。また、日本は法

講義名	構造計画（環境建築デザイン）					担当教員	陶器 浩一 / 松村 和夫
講義コード	1201340	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	113ARC213						

#### 授業概要

建築物は、機能性、安全性と芸術性を兼ね備えた総合的な創作である。建築物を成り立たせるためには、そこに作用する力の種類と力の流れを把握し、構造材料の特性を活かして架構することが必要である。本講義では建築物に作用する外力の種類と特徴、建築物を構成する構造材料とその特徴およびそれらを活かした架構方法、さらに構造力学の基本となる力の合成と分解、力の流れの計算方法について講義する。

#### 到達目標

建築物に作用する力の種類と力の流れ、および建築物を成立させるための架構計画の基本につき習得し、構造力学基本（力の合成と分解、構造物の支点反力）について解けること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	50	講義内容を理解しているか
上記以外	50	毎回の講義において小課題を課す

講義中に小課題を課す

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	空間 構造 物語 ストラクチュラル・デザインのゆくえ	斎藤公男	彰国社	
2				
3				

#### 前提学力等

物理の知識を有していること

#### 履修資格





講義名	構造材料実験					担当教員	陶器 浩一 / 伊藤 淳志 / 高田 豊文 / 永井 拓生
講義コード	1201350	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	313ARC317						

#### 授業概要

木材・鋼材・コンクリートなどの構造材料，およびラーメン・トラス・アーチなどの架構の特性を、実験を通じて理解させるのが本科目の主目標である。  
また、建築構造の最も基本となる構造力学について、演習を通して、理解を深めることも目的とする。  
さらに、他の構造系科目で扱わない、地盤・基礎構造の調査法と施工についての講義・演習を、本科目において補う。

#### 到達目標

- (1)コンクリート、鋼、木材、それぞれの性質を、理論・実験を通じ理解すること
- (2)ラーメン・トラス・アーチなどの架構の特性を、制作・実験を通して理解すること
- (3)地盤・基礎構造の基本事項を修得すること

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	実験結果をまとめたレポート等による
上記以外	50	制作・演習問題の成績等による

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：日本建築学会編「構造入門教材 ちからとかたち」（丸善）

#### 前提学力等

構造力学 ・ の内容をよく復習しておくことを強く勧める。

#### 履修資格

講義名	構造材料実験				担当教員 陶器 浩一 / 伊藤 淳志 / 高田 豊文 / 永井 拓生	
講義コード	1201350	単位数	2	開講期		後期
ナンバリング番号	313ARC317					

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	材料実験 モルタル試験体の作製、骨材試験	材料実験 モルタル試験体の作製、骨材試験
第2回	材料実験 木材の曲げ試験	材料実験 木材の曲げ試験
第3回	材料実験 鋼材・鉄筋の引張試験、金属板の座屈試験	材料実験 鋼材・鉄筋の引張試験、金属板の座屈試験
第4回	材料実験 モルタル強度試験（曲げ、圧縮）、木造建物の実大	材料実験 モルタル強度試験（曲げ、圧縮）、木造建物の実大試験
第5回	建築基礎構造 建築基礎構造入門	建築基礎構造 建築基礎構造入門
第6回	建築基礎構造 土の力学、地盤調査、基礎の設計	建築基礎構造 土の力学、地盤調査、基礎の設計
第7回	建築基礎構造 直接基礎、実際に出くわす地盤・基礎の諸問題	建築基礎構造 直接基礎、実際に出くわす地盤・基礎の諸問題
第8回	建築基礎構造 杭基礎	建築基礎構造 杭基礎
第9回	構造デザイン演習	構造デザイン演習
第10回	構造デザイン演習	構造デザイン演習
第11回	構造デザイン演習	構造デザイン演習
第12回	構造デザイン演習	構造デザイン演習
第13回	構造力学演習	構造力学演習
第14回	構造力学演習	構造力学演習
第15回	構造力学演習	構造力学演習
担当者から一言		

講義名	構造力学 (環境建築デザイン)					担当教員	陶器 浩一 / 永井 拓生
講義コード	1201360	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	213ARC202, 214BRM289, 333RED321						

#### 授業概要

建築空間を創造するためには、建築物に作用する力の種類と流れ、および建築物を構成する部材に作用する力とそれに対する架構の挙動を理解することが不可欠である。本講義では、建築構造関係科目を学習するにあたって必要とされる力学知識や力学基礎について学習する。具体的には、静定トラス・静定梁・静定構造物の応力算定、ひずみ度と応力度、部材断面の各種応力度算定について学習する。

#### 到達目標

- (1) 静定構造物を対象とした建築構造力学の知識の習得する。
- (2) 簡単な骨組構造を対象として力学の基礎原理を学習する。
- (3) 構造物における力の流れを理解できるようになる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	80	中間試験および期末試験による
レポート課題	10	宿題等による
上記以外	10	授業中の小課題等による

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	建築構造力学	坂田弘安, 島崎和司	学芸出版社	
2				
3				

演習・練習問題を多く含む教科書を勧める。

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

数学・物理の知識を有していること。「建築数学・物理」の授業を履修し、内容を理解しておくことを強く勧める。

#### 履修資格



講義名	構造力学					担当教員	高田 豊文
講義コード	1201370	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	313ARC314						

#### 授業概要

本講義は、環境建築デザイン学科専門科目の「構造計画」「構造力学」で習得した力学原理の理解を確認・発展させ、建築構造設計を行う際に必要とされる構造力学の原理を理解することを目的としている。具体的には、静定構造物・不静定構造物の応力算定法、構造物の弾性変形の計算方法について学習する。なお、講義内容の理解を深めるため、毎回レポート課題（演習問題）を課す。

#### 到達目標

- (1) 静定構造物（梁・トラス）の応力算定ができる。
- (2) 静定構造物（梁・トラス）の弾性変形を求めることができる。
- (3) 不静定構造物の応力算定ができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	(1) 静定構造物の応力算定ができること。 (2) 静定構造物の弾性変形を求めることができること。 (3) 不静定構造物の応力算定ができること。
レポート課題	50	(1) 静定構造物の応力算定ができること。 (2) 静定構造物の弾性変形を求めることができること。 (3) 不静定構造物の応力算定ができること。
上記以外	10	毎回、授業の最初に小テストを行う。評価基準は以下の通り。 (1) 静定構造物の応力算定ができること。 (2) 静定構造物の弾性変形を求めることができること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	建築構造力学 - 不静定構造力学を学ぶ	坂田弘安, 島崎和司	学芸出版社	
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	建築構造力学 - 静定構造力学を学ぶ	坂田弘安, 島崎和司	学芸出版社	
2				
3				

#### 前提学力等

構造力学 の単位を修得していることが望ましい。

#### 履修資格



講義名	コミュニティ計画論					担当教員	芦澤 竜一
講義コード	1201410	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号							

#### 授業概要

現代において地球環境を考慮した循環型社会を構築するために、建築分野を中心とした様々なサステナブルな計画、デザインの方法について論ずる。過去から現代までの都市計画、地域計画、建築デザイン、プロダクトデザインなど具体的な実例や取り組みを紹介しながら講義を行う。

#### 到達目標

建築を中心とした様々なサステナブルデザインの知識を身につける。環境、都市、地域、建築における様々な問題を解決する思考方法を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	授業内容を理解し、自身の論を立てられていることを評価する。
上記以外	30	毎回の出席点

1/3以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

授業内容を踏まえ、自身で調査・思考することを求める。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜指定

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜指定

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	コミュニティ計画論				担当教員	芦澤 竜一	
講義コード	1201410	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号							

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	現代社会の様々な問題	
第2回	歴史的な建築の問題	
第3回	日本のサステナブルデザイン1	デザイン実例を紹介して講義する。
第4回	日本のサステナブルデザイン2	
第5回	建築デザイン1	
第6回	建築デザイン2	
第7回	建築デザイン3	
第8回	都市デザイン	
第9回	地域デザイン	
第10回	自然現象と建築	
第11回	素材と建築	
第12回	植物と建築	
第13回	弱者のための建築	

担当者から一言



講義名	サステイナブルデザイン論					担当教員	芦澤 竜一
講義コード	1201465	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	312PEL303, 313ARC303						

#### 授業概要

現代において地球環境を考慮した循環型社会を構築するために、建築分野を中心とした様々なサステイナブルな計画、デザインの方法について論ずる。過去から現代までの都市計画、地域計画、建築デザイン、プロダクトデザインなど具体的な実例や取り組みを紹介しながら講義を行う。

#### 到達目標

建築を中心とした様々なサステイナブルデザインの知識を身につける。環境、都市、地域、建築における様々な問題を解決する思考方法を身につける。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	授業内容を理解し、自身の論を立てられていることを評価する。
上記以外	30	毎回の出席点

1/3以上欠席した場合は、評価の対象としない。

#### 授業外学習

授業内容を踏まえ、自身で調査・思考することを求める。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜指定

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜指定

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	サステイナブルデザイン論				担当教員	芦澤 竜一	
講義コード	1201465	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	312PEL303, 313ARC303						

授業計画						
------	--	--	--	--	--	--

回数	タイトル	概要
第1回	現代社会の様々な問題	
第2回	歴史的な建築の問題	
第3回	日本のサステイナブルデザイン1	デザイン実例を紹介して講義する。
第4回	日本のサステイナブルデザイン2	
第5回	集落のサステイナブルデザイン	
第6回	建築デザイン1	
第7回	建築デザイン2	
第8回	建築デザイン3	
第9回	都市デザイン	
第10回	地域デザイン	
第11回	自然現象と建築	
第12回	素材と建築	
第13回	植物と建築	
第14回	弱者のための建築	
第15回	サステイナブルデザイン総論	

担当者から一言

講義名	西洋建築・思潮史				担当教員	迫田 正美	
講義コード	1202320	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	213ARC217						

#### 授業概要

ヨーロッパを中心とした建築の歴史を、現代建築へとつながるデザインの源泉として、どのように理解し評価するのか、その視座の獲得を目標に据える。  
したがって、各時代の様式や個々の作品の知識だけでなく、その創作の背景となる世界観や各時代の芸術表現あるいは建築理論や芸術論なども併せて講述する。

#### 到達目標

- (1) 古代ギリシアから20世紀初頭までの芸術及び建築デザインの変遷について説明することができる。
- (2) 各時代・地域の芸術論の基礎的な知識について説明することができる。
- (3) 個々の芸術作品及び建築作品について、その特徴について述べるることができる。
- (4) 各回の講義のテーマに関連した事項について説明または自分の意見を述べるることができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	55	(1) (2) (3)
レポート課題	45	(4) (2) (3)
上記以外		

#### 授業外学習

毎授業の終わりに簡単なレポートを作成する。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ヨーロッパ建築史	西田雅嗣編	昭和堂	
2	西洋建築史図集	日本建築学会	彰国社	
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	設計演習					担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 辻 琢磨 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一
講義コード	1202340	単位数	3	開講期	前期		
ナンバリング番号	213ARC215						

#### 授業概要

イメージ表現、設計基礎演習などの既往演習を基礎にして、より本格的、建築的な課題を進めていく。前半課題では、人間的な尺度、そして認知、行動、更には生活と空間との関係を念頭において設計することを課題とする。後半課題では、様々な目的で生まれる複数の動線の処理、広がりを持つ場所で既存のコンテキストへの対応を踏まえた課題を出す。この目的で、設計建築物としては、木造戸建住宅（構造計画も含める）、小規模施設などとする。

#### 到達目標

- (1)80㎡程度の小住宅と、60㎡程度の店舗空間を複合的に捉え設計できること。  
(2)200㎡程度の木造低層公民館を設計することができること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す各項目について、(1)を前半課題の作品の内容(50%)で、(2)を後半課題の作品の内容(50%)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。なお、各回行われるグループエスキスの出席点を30%、課題の合計点を70%として評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	設計演習				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 辻 琢磨 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1202340	単位数	3	開講期			前期
ナンバリング番号	213ARC215						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	前半課題説明	前半課題説明；導入講義
第2回	着手発表会	建築構想の初回発表
第3回	エスキス	平面計画案の批評
第4回	エスキス	立面図、断面図の検討
第5回	中間発表会	計画案の講評
第6回	エスキス	図面完成に向けての作業
第7回	講評会	各作品の選抜と講評
第8回	後半課題説明	後半課題説明；導入講義
第9回	着手発表会	建築構想の初回発表
第10回	エスキス	立面図、断面図の検討
第11回	エスキス	矩形図の説明と作図案
第12回	中間発表会	計画案の講評
第13回	エスキス	図面完成に向けての作業
第14回	講評会	講評；夏季休暇課題の説明
第15回	講評会	合同講評会（設計演習1, 3の合計4課題合同）
担当者から一言		

講義名	設計演習				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 稲垣 淳哉 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 東福 大輔 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1202350	単位数	3	開講期			後期
ナンバリング番号	213ARC310						

#### 授業概要

コンセプチュアルな思考から、実践的な設計行為につながる設計過程を習得することを目標に、中規模建築を様々な工法で設計する方法を学ぶ。具体的には前後半で2つの中規模建築の設計課題に取り組む。

#### 到達目標

- (1) 中規模の建築を設計することができること。
- (2) 設計内容を的確に伝えるために適切な表現ができること。
- (3) 社会の動向を把握し、建築によって問題提議・課題解決を図れること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す各項目について、(1)を前半課題の作品の内容(50%)で、(2)を後半課題の作品の内容(50%)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。なお、エスキスチェックは必ず受けること。

#### 授業外学習

毎回のエスキスチェックや講評を踏まえて、各自調査・設計を行っていく。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：プリント配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：適宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	設計演習					担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 稲垣 淳哉 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 東福 大輔 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一
講義コード	1202350	単位数	3	開講期	後期		
ナンバリング番号	213ARC310						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	前半課題説明、敷地調査・分析	前半課題の説明、敷地の現地調査、敷地分析
第2回	敷地調査・エスキス案発表	敷地分析・エスキス案発表・講評
第3回	エスキスチェック	
第4回	中間発表	コンセプト・ダイアグラム・平面図・立面図・断面図・スタディ模型・講評
第5回	エスキスチェック	
第6回	エスキスチェック	プレゼンテーション指導
第7回	前半課題の講評会	
第8回	後半課題説明、敷地調査・分析	後半課題の説明、敷地の現地調査、敷地解析
第9回	敷地調査・エスキス案発表	敷地分析・エスキス案発表・講評
第10回	エスキスチェック	
第11回	中間発表	コンセプト・ダイアグラム・平面図・立面図・断面図・スタディ模型・講評
第12回	エスキスチェック	
第13回	エスキスチェック	プレゼンテーション指導
第14回	後半課題の講評会	
第15回	設計演習 ・ 設計基礎演習合同講評会	
担当者から一言		



講義名	設計演習				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 辻 琢磨 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一 / 森田 一弥	
講義コード	1202360	単位数	3	開講期			前期
ナンバリング番号	313ARC311						

#### 授業概要

環境建築デザイン学科の演習授業の総括として、より高度な計画・デザイン手法を身につけることを主眼とし、大規模な複合施設の設計課題に取り組み、都市計画的・景観計画的な分析能力を養い、提案する建築を社会や環境に関連つけて機能させる総合提案力を習得することを目標とする。

#### 到達目標

- (1) 大規模の建築を敷地計画も含めて総合的に計画・デザインできること。
- (2) 設計内容を的確に伝えるために適切な表現ができること。
- (3) 社会の動向を把握し、建築によって問題提議・課題解決を図れること。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す各項目について、(1)を前半課題の作品の内容(50%)で、(2)を後半課題の作品の内容(50%)で評価する。100点満点で採点し、60点以上を合格とする。なお、エスキスチェックは必ず受けること。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：プリント配布

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：適宜紹介

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	設計基礎演習				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1202370	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	113ARC212						

#### 授業概要

私達が生きる空間は3次元空間であり、建築を作ることは3次元の空間中に立体物を作ることである。通常、建築の姿かたち、設計の意図、仕組み、情報を伝える方法として、紙やコンピュータの画面が用いられるが、これらは2次元の平面である。この演習では、3次元の立体である建築を2次元の平面に表現する方法として考案されてきた数々の作図方法の一端を学ぶ。また、建築を手軽なかたちで3次元のまま表現するために、往々にして模型が用いられる。2次元の図と模型を用い、建築をプレゼンテーションする方法についても学ぶ。

#### 到達目標

- (1) 立体としての建築の表現方法を学ぶ
- (2) 建築の設計図の書き方、読み取り方を学ぶ
- (3) 各種構造の建物の成り立ち方を学ぶ
- (4) 小規模な建築・空間の設計および表現方法を学ぶ

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業時間内に取り組む課題、および宿題の成果により評価する

- ・履修には全ての課題（宿題を含む）の提出を必要とする。期限を過ぎての提出は内容に関係なく大幅な減点となる。
- ・宿題は提出日の授業中に提出する。（提出日の授業時に指示する）
- ・製図のための用具は各自が用意する。毎回の授業に必ず持参すること。

#### 授業外学習

各課題には提出期限が定められている。これに遅れないように計画的に作業を進めて欲しい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

新装版 初めての建築製図：＜建築のテキスト＞編集委員会編、学芸出版社、2007.3

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	設計基礎演習				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1202370	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	113ARC212						

### 授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション、正投象による立体の図面表現	簡単な立体の平面図、立面図、断面図を正投象により作図する。
第2回	立体の斜投象による図面表現、アクソメ図	簡単な立体形状を斜投象によって表現する。
第3回	立体の透視図 (パースペクティブ)	簡単な立体形状を透視図 (パースペクティブ) によって表現する。
第4回	立体の透視図 (パースペクティブ)	簡単な立体形状を透視図 (パースペクティブ) によって表現する。
第5回	木造住宅トレース	建築の設計図面をトレース (複写) することで、建築の設計図書の見方や製図の方法、また、建物はどのような要素 (デザイン、材料、工法 ...) によって成り立っているのかを学ぶ。
第6回	木造住宅トレース	構造伏図のトレース。
第7回	木造住宅トレース / 2回生課題講評会見学	構造軸組図・詳細図のトレース。授業時間中、2回生の設計課題の講評会の見学を行う。
第8回	木造住宅トレース	意匠詳細図のトレース。
第9回	RC造建物、その他トレース	建築の設計図面をトレース (複写) することで、建築の設計図書の見方や製図の方法、また、建物はどのような要素 (デザイン、材料、工法 ...) によって成り立っているのかを学ぶ。
第10回	RC造建物、その他トレース	一般図のトレース。
第11回	RC造建物、その他トレース	詳細図のトレース。
第12回	大学内の敷地に立つ立体物・空間の設計	前回までに修得した技術・知識を用い、大学敷地内に立つ小規模な建築物の設計を行う。基本的な方針、デザイン案のエスキース。
第13回	大学内の敷地に立つ立体物・空間の設計	意匠一般図の提出、およびそれをもとにした表現・プレゼン方法のエスキース。
第14回	大学内の敷地に立つ立体物・空間の設計	作品講評会
第15回	2・3回生合同講評会の見学	2・3回生の設計課題等の講評会を見学する。

担当者から一言

図面を書く目的は、作りたいモノの内容、成り立ち方、作り方を人に理解してもらうためです。色々なルールや決まりがあり、また表現の工夫をしなければならぬのはもちろんですが、そもそもは、読む人のために書く、ということを忘れず取り組んでください。

講義名	卒業研究・卒業制作（環境建築デザイン）				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1202450	単位数	3	開講期			
ナンバリング番号	413ARC401						

#### 授業概要

この授業は、3年次後期の「環境建築デザイン演習」の延長上にあり、「環境」、「建築」、「デザイン」、「地域」などをキーワードとして、各自が取り組むべき課題を設定して、研究・設計・制作を進める。4年次後期の「卒業研究・卒業制作」と連携させ、「通年論文」、「通年設計」、「前期論文・後期設計」のいずれかの形態を選択する。

#### 到達目標

- (1)「環境」、「建築」、「デザイン」、「地域」などをキーワードとして設定した課題に対し、必要となる資料の収集・分析等を適切かつ十分に行うことができる。  
(2)設定した課題に対して、結果や自身の考え方を適切に表現することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各到達目標について、課題に取り組む姿勢、資料収集・分析の適切さ、プレゼンテーションの適切さを評価する。

研究・設計・制作の遂行に当たっては、担当指導教員やその他の教員との議論を頻繁に行うこと。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	卒業研究・卒業制作（環境建築デザイン）				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1202460	単位数	3	開講期			
ナンバリング番号	413ARC402						

#### 授業概要

この授業は、4年次前期の「卒業研究・卒業制作」の延長上にあり、「卒業研究・卒業制作」で得た結論・知見に基づき、必要に応じて各自が取り組むべき課題を再設定して、研究・設計・制作を進める。4年次後期の「卒業研究・卒業制作」と連携させ、「通年論文」、「通年設計」、「前期論文・後期設計」のいずれかの形態を選択する。

#### 到達目標

- (1) 学術的・社会的に有意義なテーマと目的を設定することができる
- (2) 目的に照らして適切な方法を用いて考察することができる
- (3) 客観的・実証的に論理を組み立てることができる
- (4) 成果についての確かつ独創的に表現することができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各到達目標について、課題に取り組む姿勢、資料収集・分析の適切さ、プレゼンテーションの適切さを評価する。

研究・設計・制作の遂行に当たっては、担当指導教員やその他の教員との議論を頻繁に行うこと。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	地域環境計画				担当教員	轟 慎一	
講義コード	1202570	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	113ARC210-C						

#### 授業概要

都市計画・地域計画の分野における、都市・集落の生活空間・地域環境の構造と、その調査論・計画論・まちづくりについて論じる。都市・集落をいかに捉えるか、どうやって地域・環境にアプローチするか。都市計画・建築設計・環境デザイン・まちづくり・都市政策では、地域の社会的・空間的特質の把握と、地域像のパースペクティブが不可欠である。本講は、研究技法の系統的理解にとどまらず、地域にかかる基本的な概念体系をふまえ、地域そのものの構造的な理解をめざす。都市システム、地域環境、景観、地域空間、居住、コミュニティ、生活空間等の観点から、実践的な調査の視点や具体的な現場の視点をまじえ論考する。本講は、設計演習・環境フィールドワーク等における、対象の構造的把握においても論理的・技術的有用性がある。

#### 到達目標

- (1) 都市システム・地域環境・地域生活空間の基本を理解し、説明することができる。
- (2) 都市・集落調査の基本を理解し、実践することができる。
- (3) 都市問題・まちづくり・計画論の基本を理解し、説明することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	40	(2) 研究レポート
上記以外	60	(1) (3) 中間小論文(25%)、期末小論文(35%)

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	地域環境計画				担当教員	轟 慎一	
講義コード	1202570	単位数	2	開講期			後期
ナンバリング番号	113ARC210-C						

授業計画		
回数	タイトル	概要
第1回	本講の概要	生活空間の概念
第2回	都市空間論	土地利用、自然環境、都市構造
第3回	都市空間論	都市形成、社会環境、地域開発
第4回	集落空間論	都市近郊地域・平野地域・沿岸地域と景観
第5回	集落空間論	地域問題とまちづくり
第6回	地域調査論	都市・集落研究の方法論、事実と意見
第7回	地域調査論	文献調査、図書・雑誌、統計・資料
第8回	中間まとめ	小論文
第9回	地域調査論	地図分析、空中写真、フィールドワーク
第10回	地域調査論	観察調査、ヒヤリング、アンケート
第11回	地域計画論	地域概念、都市の階層構造
第12回	地域計画論	過疎過密と地域構造、都市問題とまちづくり
第13回	都市計画論	都市環境問題、交通問題
第14回	都市計画論	都市システムと持続・再生
第15回	期末まとめ	小論文
担当者から一言		

講義名	地域再生システム論					担当教員	鶴飼 修 / 上田 洋平
講義コード	1202610	単位数	2	開講期	前期集中		
ナンバリング番号	112PEL205						

#### 授業概要

地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主導的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。

- 1) 夏期3日間の集中講義として行う(2016年度は9月17日、18日、24日を予定。フィールドワークはこのうち1日)。
- 2) 学生、院生(社会人学生含む)混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。
- 3) フィールドワーク先や課題は地域の行政等から紹介・提起を受け、ホットでリアルなフィールドや課題に挑む。
- 4) 地域住民や市民団体、地域の行政職員等、地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。

#### 到達目標

- (1) 様々な地域再生事業の概要及び実施手法について理解し説明できる。
- (2) フィールドワークやワークショップによって地域の現状と課題についての確に把握し整理することができる。
- (3) 地域課題・地域再生に資する事業を企画し提案することができる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に示す(1)については中間レポート(30%)により、(2)(3)(4)については最終レポート(50%)及びプレゼンテーション(20%)により評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	地域再生 滋賀の挑戦 エコな暮らし・コミュニティ再生・人材育成	近江環人地域再生学座編	新評論	
2	地域診断法 鳥の目、虫の目、科学の目	近江環人地域再生学座編	新評論	
3	近江楽座のススメ - 学生力で地域が変わる	近江楽座学生委員会編著	ラトルズ	

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	地域産学連携実習				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1202620	単位数	2	開講期			
ナンバリング番号							

#### 授業概要

自治体や民間の設計事務所等・シンクタンク等で研修を行い、実社会で環境・建築デザイン専門分野の活動がどのように行われているか体験学習する。

#### 到達目標

(1) 専門家としての職能像を明確に持つとともに、実践現場において必要とされる作法や技術のあり方を理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	体験学習した内容をレポート等にまとめ、その内容により評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	地域産学連携実習				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1202621	単位数	2	開講期			
ナンバリング番号	113ARC322						

#### 授業概要

自治体や民間の設計事務所等・シンクタンク等で研修を行い、実社会で環境・建築デザイン専門分野の活動がどのように行われているか体験学習する。なお、「地域産学連携実習」では、原則として前期に行った体験研修を評価の対象とする。

#### 到達目標

(1) 専門家としての職能像を明確に持つとともに、実践現場において必要とされる作法や技術のあり方を理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	体験学習した内容をレポート等にまとめ、その内容により評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格





講義名	地域産学連携実習				担当教員	学科教員 / 芦澤 竜一 / 伊丹 清 / 金子 尚志 / 川井 操 / 迫田 正美 / 白井 宏昌 / 高田 豊文 / 陶器 浩一 / 轟 慎一 / 永井 拓生 / Jimenez Verdejo Juan Ramon / 村上 修一	
講義コード	1202622	単位数	2	開講期			
ナンバリング番号	113ARC323						

#### 授業概要

自治体や民間の設計事務所等・シンクタンク等で研修を行い、実社会で環境・建築デザイン専門分野の活動がどのように行われているか体験学習する。なお、「地域産学連携実習」では、原則として後期に行った体験研修を評価の対象とする。

#### 到達目標

(1) 専門家としての職能像を明確に持つとともに、実践現場において必要とされる作法や技術のあり方を理解できる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	体験学習した内容をレポート等にまとめ、その内容により評価する。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	都市・地域計画					担当教員	轟 慎一
講義コード	1202760	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	313ARC312-C						

#### 授業概要

都市・農山漁村における地域空間の実態と成り立ち、地域課題の解決と持続・再生に向けた計画について、空間論的視座と計画論的視座を中心に論考する。都市・地域はいかに成り立ち、どのような問題を抱え、いかなる実状にあり、どのような方向に向かっているか。空間論的視座では、生活・生業の器としての空間の構造、生活者・コミュニティからみた居住環境・生活空間について論じる。計画論的視座からは、それら空間をつくりだすための計画制度・事業展開・まちづくり等について論じる。地区レベルでは、中心市街地・郊外住宅地・農山漁村等を事例として、居住、コミュニティ、少子高齢化、定住環境、生活空間、景観等の観点から、実践的な調査・計画の視点をまじえ論考する。本講は、卒業論文・卒業設計等における、計画論的研究の方法論においても有用性がある。

#### 到達目標

- (1) 生活空間・コミュニティ・地域環境・地域研究の基本を理解し、説明することができる。
- (2) 計画論・計画制度・まちづくりの基本を理解し、説明することができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	(1)(2) 中間小論文(50%)、期末小論文(50%)

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	内部空間論					担当教員	未定*
講義コード	1202840	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	213ARC220						

#### 授業概要

建築をデザインする際は、内部と外部を隔てて考えるのではなく、相互に影響を及ぼしあいながらひとつの造形として結実している。また特に集客施設や不特定多数の利用する内部空間においては、用途やシーンに応じた空間感の配慮が必要である。本授業では内部空間の成り立ちや物理的条件の差異による空間認知特性や空間相互の連続性等について講義する。

#### 到達目標

- (1) 建築の内部空間の寸法・面積・仕様に関する専門的知見を得ること。
- (2) 採光・通風など、自然環境と内部空間の連続性について専門的知見を得ること。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す各項目について、(1)を授業5回目のレポート課題として課し、その内容(40%)で評価する。また(2)を授業12回目のレポート課題として課し、その内容(40%)で評価する。また13回目に授業内小テストを出題し、その得点(20%)で評価する。以上を合算し、評価の100%とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指定教科書：「事例で読む建築計画」彰国社、高柳英明、鈴木雅之、西田司

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	内部空間論					担当教員	未定*
講義コード	1202840	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	213ARC220						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	オリエンテーション	
第2回	建築を外から考える	建築を外から考える、中から考える(Ex: サヴォア邸、プレイリースタイル、ウィークエンドハウス、狭小住宅、TAHO等)
第3回	内部空間の成り立ちと構成	20世紀住宅の空間構成、世界の住宅の空間構成、間取りの世界地図
第4回	光と室内	軒と縁側、壁と窓の寸法、西洋・日本の比較
第5回	空間の寸法とその特性	典型的な住宅の寸法、尺貫法、近代建築のオーダー
第6回	居間の会話環、キッチンワークトライアングル	カンパセーションサークル、着座位置、キッチンの動線計画
第7回	内部空間の色、質感、素材、明るさ	内部空間の造作、工法、素材の説明
第8回	人工的な条件による内部空間の創造	ダクト、スポット、建築照明
第9回	建築照明、人工照明、照明計画-1	人工照明計画のてびき、住宅エントランスの照明計画演習1
第10回	建築照明、人工照明、照明計画-2	人工照明計画のてびき、住宅エントランスの照明計画演習2
第11回	サイン計画	ローカルナビゲーション、グローバルナビゲーション、サイン計画
第12回	商業建築の室内計画	Ex: アパレル、飲食店、娯楽施設、ホテル
第13回	オフィスの室内計画	Ex: ジョンソンワックス、パナソニックビル、SECIプロセスetc...
第14回	住宅の室内計画	家族構成と間取り、GOH、LlSetc...
第15回	集合住宅の室内計画	建築設計ノート集合住宅及び事例で読む建築計画よりケース紹介・分析

担当者から一言

講義名	日本建築史				担当教員	白井 宏昌	
講義コード	1202850	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	313ARC222						

#### 授業概要

本講座では原始時代から現代にいたるまで、わが国で建設された建築物の思想・技術の変遷を、それらが建てられた時代背景とともに振り返る。ここでは、単に懐古的に過去の建築を眺めるというのではなく、現在・未来を考えるうえでの歴史学という観点から、これからの建築を考えるための教訓を得ることを意図している。本講座の構成は大きく3つに分けることができる。前半は時系列的に各時代の建築を考察し、後半は「住まい」と「象徴」という2つのテーマに沿って日本建築の歴史を横断していく。

#### 到達目標

- (1) 原始から近代までの日本建築の変遷が理解できる
- (2) 各時代に建てられた特徴的な建築様式とその社会背景が理解できる

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	90	到達目標(1)および(2)について、自らの考えを問うためのレポート課題を課す
上記以外	10	講義への出席率を評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	日本建築史					担当教員	白井 宏昌
講義コード	1202850	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	313ARC222						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	ガイダンス	建築史を学ぶ意義を踏まえ、本講座の進め方を講義する
第2回	通史(1) 原始: 縄文・弥生・古墳	該当する時代の社会背景を踏まえ、その時代に建てられた建築の思想・技術を学ぶ
第3回	通史(2) 古代 飛鳥・奈良・平安	該当する時代の社会背景を踏まえ、その時代に建てられた建築の思想・技術を学ぶ
第4回	通史(3) 中世 鎌倉・南北朝・室町	該当する時代の社会背景を踏まえ、その時代に建てられた建築の思想・技術を学ぶ
第5回	通史(4) 近世 桃山・江戸	該当する時代の社会背景を踏まえ、その時代に建てられた建築の思想・技術を学ぶ
第6回	通史(5) 近代-1 明治・大正・昭和初期	該当する時代の社会背景を踏まえ、その時代に建てられた建築の思想・技術を学ぶ
第7回	通史(6) 近代-2 明治・大正・昭和初期	該当する時代の社会背景を踏まえ、その時代に建てられた建築の思想・技術を学ぶ
第8回	通史(7) 現代-1 昭和後期・平成	該当する時代の社会背景を踏まえ、その時代に建てられた建築の思想・技術を学ぶ
第9回	通史(8) 現代-2 昭和後期・平成	該当する時代の社会背景を踏まえ、その時代に建てられた建築の思想・技術を学ぶ
第10回	通史(9) 現代-3 昭和後期・平成	該当する時代の社会背景を踏まえ、その時代に建てられた建築の思想・技術を学ぶ
第11回	特論(1) 住まい-1	該当する時代の社会背景を踏まえ、その時代に建てられた建築の思想・技術を学ぶ
第12回	特論(2) 住まい-2	これまで日本に建てられた庶民の住まいの変遷を学ぶ
第13回	特論(3) 住まい-3	これまで日本に建てられた庶民の住まいの変遷を学ぶ
第14回	特論(4) 象徴 1	これまで日本に建てられた建築の象徴性を振り返り、その変遷を考察する
第15回	特論(5) 象徴 2	これまで日本に建てられた建築の象徴性を振り返り、その変遷を考察する
担当者から一言		



講義名	木匠塾					担当教員	高田 豊文 / 陶器 浩一
講義コード	1203180	単位数	2	開講期	通年集中		
ナンバリング番号	113ARC321-C						

#### 授業概要

木材等の生物材料あるいは土・石などの自然素材を主として用い、構築物（遊具、家具、倉庫など）を学生主体で設計・製作することによって、素材の特性、利用方法、加工技術、木組み、ディテール（収まり）などを総合的に学習する。活動拠点となる地域を、加子母（岐阜県中津川市）、川上村（奈良県）、多賀町（滋賀県）の中から選択する。主な実施製作の期間は、夏季2週間程度を予定しているが、活動拠点によっては、その他の時期でも活動を行う。製作のための設計は、現地の方々と連絡をとりながら行う。木匠塾には、他大学の学生の参加もあり、地元の人々の指導も受けることができる。

#### 到達目標

- (1) 地域に必要とされる構築物の設計を提案できる。
- (2) 木造の設計の基礎を習得する。
- (3) 木材加工のための工具を巧みに使用できる。

#### 成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	成績評価は、設計と制作での取り組み態度（パフォーマンス）によって評価し、到達目標で示す(1)については30%、(2)については30%、(3)については40%で評価する

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格



講義名	ランドスケープデザイン					担当教員	村上 修一
講義コード	1203200	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	213ARC204, 214BRM288						

#### 授業概要

ランドスケープデザインは、生活空間を豊かにするために人間が生み出した創造行為である。主に近代以降の代表的な事例を紹介しながら、ランドスケープデザインの様々な手法や理論を解説する。受講生は単に知識を得るだけでなく、未来社会にふさわしい新たなデザインを習得する。

各回の授業は以下のように実践形式である。

- (1) 目標とワークシート課題の提示
- (2) 課題を解くために必要な手法の講述
- (3) ワークシートの作成と採点

#### 到達目標

講述する手法を用いたランドスケープデザインができるようになる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標について授業時間内に実施する13回分のワークシート課題の点数を合計し(100点/回, 1300点満点), 100点満点に換算して評点とする(100%)。ワークシートは、授業時間中に座席間を移動する教員によって採点される。

授業に出席していても、居眠り等でワークシートを作成していない場合、その回のワークシート課題の点数は0点となる。つまり欠席と同じ扱いとなる。1限目の授業の履修に不安がある人は、その点をよく考慮して履修すること。

#### 授業外学習

本科目で習得した手法を、設計演習や卒業設計における課題制作に際して積極的に活用することで、確実に身につけるようにしてほしい。

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ランドスケープデザイン	佐々木葉二, 曾和治好, 村上修一, 久保田正一	昭和堂	
2	環境デザイン学 ランドスケープの保全と創造	森本幸裕, 白幡洋三郎編	朝倉書店	
3	テキスト ランドスケープデザインの歴史	武田史朗, 山崎亮, 長濱伸貴編	学芸出版社	

#### 前提学力等

#### 履修資格

講義名	ランドスケープデザイン				担当教員	村上 修一	
講義コード	1203200	単位数	2	開講期			前期
ナンバリング番号	213ARC204, 214BRM288						

授業計画

回数	タイトル	概要
第1回	序論	ランドスケープデザインの概要を理解する。
第2回	三次元	床面，側面，天井で屋外空間を構成する手法を学ぶ。
第3回	動平衡	幾何学の美学を応用して空間を構成する手法を学ぶ。
第4回	視線と動線の連続性	屋内と屋外との間で視線および動線の連続性を確保する手法を学ぶ。
第5回	曖昧性	透明性により複数の形態が同時に体験され得る空間の構成手法を学ぶ。
第6回	樹木の基本	学内の実物を見て触れて樹木の基本を理解する（雨天決行，ワークシートなし）。
第7回	樹木の構成する空間	樹木の形態の特質を理解し，その特質を活かす空間の構成手法を学ぶ。
第8回	モルフォシス	経時変化を活かす空間の構成手法を学ぶ。
第9回	ヒトの場	都市の中に森をつくる手法を学ぶ。
第10回	シークエンス	歩行にともない変化する景観を楽しめる空間の構成手法を学ぶ。
第11回	事象の顕在化	自然現象が顕在化する空間の構成手法をアースワークとランドアートに学ぶ。
第12回	場所性	場の特性を活かす空間の構成手法を学ぶ。
第13回	地形の操作	等高線の基本を理解し，地形操作の前提となる作図方法を学ぶ。
第14回	再生	旧来の空間に新たな可能性を発見し形にする手法を学ぶ。
第15回	脱構築	非予定調和の空間構成で多様な活動を誘発する手法を学ぶ。

担当者から一言

(1)遅刻をしないこと。授業の冒頭で目標を説明しワークシート課題を提示する。遅刻すると目標や課題の理解が不十分な状態でワークシートの作成を行うことになる。

講義名	建築デジタルデザイン基礎					担当教員	永井 拓生
講義コード	1203330	単位数	2	開講期	後期		
ナンバリング番号	213ARC218						

#### 授業概要

近年、個人向けのコンピュータでも大容量の高速演算が手軽に行えるようになってきています。建築の様々な分野においてコンピュータシミュレーションの利用が進んでおり、特にビッグデータを活用した統計的な解析手法はあらゆる分野で大きな威力を発揮することが期待されています。建築においては、構造や環境設備の分野ではもちろんのこと、それ以外の分野でも、基礎的な数学の知識を持っていることは、今後は非常に有用となるに違いありません。

本講義の前半～中盤では、コンピュータを用いたシミュレーションを行うための基礎的な数学やそれらを用いたアルゴリズムのエッセンスを高校数学程度の知識を前提に分かりやすく解説します。

講義の後半では、コンピュータシミュレーションやデジタルデザインの事例として、パラメトリックデザインの実施例、3Dプリンタとコンピュータプログラムとの連携、地域活性の拠点としてFab Labを設置した試みなどの先端的な事例について紹介し、本講義で学ぶ知識がどのように活かされるかについても述べたいと思います。

解析・分析技術の発展により、近代化の過程で私達が捨て去ってきたモノの価値を高めることに貢献できることに、気付いてほしいと思います。

#### 到達目標

- (1) デジタルデザインの意味・意味・有効性を理解する
- (2) ビッグデータ活用のための基礎的な数学知識を得る
- (3) 先端技術・新技術に対する敷居の高い印象を払拭する

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	期末試験により評価する
レポート課題		
上記以外	50	授業時間内に消化できる簡単な演習を行う

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する

#### 前提学力等

「建築物理・数学」を受講し、単位を取得しておくことを強く勧める。

#### 履修資格



講義名	文化財・保存修景論A					担当教員	濱崎 一志 / 井口 貢
講義コード	1402920	単位数	2	開講期	前期		
ナンバリング番号	413ARC308, 230HER201						

#### 授業概要

歴史的環境を構成する地域文化財の保存・修景・活用について論ずる。前半では濱崎が、歴史的環境を構成する地域文化財、町なみや集落、遺構、遺跡などを調査し、その現代的意義を再評価し、現在の生活空間に再生させ活用するために、その保存や修景の方法と、保存・修景することの意義について、海外や国内の具体的な例をあげながら論ずる。後半では井口が、文化財や街並み、生活遺構、産業遺産などを活用した地域振興（まちづくりや観光振興を中心に）の実態や望ましい在り方について考察していく。

#### 到達目標

- (1)地域文化財の調査、再評価、保存・活用について理解し、説明できること。
- (2)地域文化財の活用したまちづくりのあり方について自らの考えを述べるができる。
- (3)文化財や街並み、生活遺構、産業遺産などを活用した地域振興の望ましい在り方について自らの考えを述べるができる。

#### 成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	(1)地域文化財の調査、再評価、保存・活用について理解し、説明できること、(2)地域文化財の活用したまちづくりのあり方について自らの考えを述べるができる、については濱崎の課題レポート(50%:(1)40%、(2)60%)で評価する。
上記以外		

100点満点で採点し、60点以上を合格とする。

#### 授業外学習

#### 教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

#### 前提学力等

#### 履修資格

